



ワールドホールディングス



Create a Sustainable World.

2025年12月期 決算説明資料

第2四半期

2025年8月5日(火)

株式会社ワールドホールディングス

東証プライム(2429)

CONTENTS 目次

01

2025年12月期
第2四半期 決算概要

P.3

02

2025年12月期
業績見通し

P.17

03

Appendix
会社案内

P.28





01

2025年12月期 第2四半期 決算概要

P.3

- P.4 決算サマリー
- P.5 業績概況
- P.6 業績概況/セグメント別
- P.8 プロダクツHR事業
- P.9 サービスHR事業
- P.10 不動産事業
- P.11 情報通信事業
- P.12 農業公園事業
- P.13 戦略とトピックス

全体サマリー

セグメントごとに強弱はあるものの、主力の人材教育ビジネスが全体を牽引。特にプロダクツHRの半導体関連が堅調に推移。不動産ビジネスも前年同期比で案件増加等により確実に業績寄与し、前年同期比で増収増益。計画も上振れて推移。

人材教育 ビジネス

前年同期比増収増益、計画比でも上振れた。

プロダクツHRは、AI向けを中心とした半導体分野が堅調に推移。前年に発生した人員シフトに関する一時的費用も解消。採用効率も向上したことから、特に利益面が前年同期比・計画比ともに大きく上振れて推移。

サービスHRは、eコマース向けやヤマト・スタッフ・サプライなどロジスティクス部門が堅調に推移し、前年同期比増収増益、計画比でも上振れて推移。

不動産 ビジネス

前年同期比大幅な増収増益。前年に比べ案件が増加したことに加え、不動産価格の上昇や、緻密なマーケティングにより最適なタイミングで物件を販売したこと、および想定していたコストも削減できたことなどが奏功。

計画比では、BIZIA小倉などの引渡しを下期に先送りしたことにより売上は未達となったが、コストが計画以下に留まり、利益は上振れて推移。

情報通信 ビジネス

前期比増収増益。計画比でも上振れ。モバイルショップ運営において、スクラップ＆ビルドの成果により各店舗の収益が改善、販促強化による販売台数増加が貢献。法人向けソリューション部門やコールセンター部門も堅調に推移し業績寄与。

農業公園 ビジネス

2月の大雪と、最繁忙期である4～5月が悪天候に見舞われたことなどにより、入園者数が落ち込み苦戦。新規受託案件の収益寄与に加え、直営施設の大型修繕や園内美化、各種コンテンツの充実を図ったことが顧客単価の上昇に繋がり、売上計画は下回ったものの増収。利益面は、入場者数の減少に加えて、原価上昇等も相俟って、計画を下回り減益。

業績概況

- セグメントごとに強弱はあるものの、主力の人材教育ビジネスが全体を牽引。特にプロダクツHRの半導体関連が堅調に推移。不動産ビジネスも前年同期比で案件増加等により確実に業績寄与し、前年同期比で増収増益
- 計画比では、売上はほぼ想定線、利益は上振れて推移。不動産ビジネスで下期以降へ先送りした物件があるものの、人材教育ビジネスが上振れたことから売上はほぼ想定線。利益は人材教育ビジネス、不動産ビジネスとも堅調に推移し上振れ

(百万円)	2024/Q2	2025/Q2	2025/Q2	計画比		前年同期比	
	実績	計画	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	110,805	130,628	131,785	1,157	0.9%	20,979	18.9%
営業利益	2,358	3,543	4,975	1,432	40.4%	2,617	111.0%
経常利益	2,381	3,183	4,824	1,641	51.6%	2,443	102.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	737	1,555	2,650	1,095	70.3%	1,912	259.2%
EBITDA*	3,401	-	6,009	-	-	2,607	76.7%
減価償却費	501	-	493	-	-	△9	△1.8%
のれん償却額	541	-	540	-	-	0	△0.1%

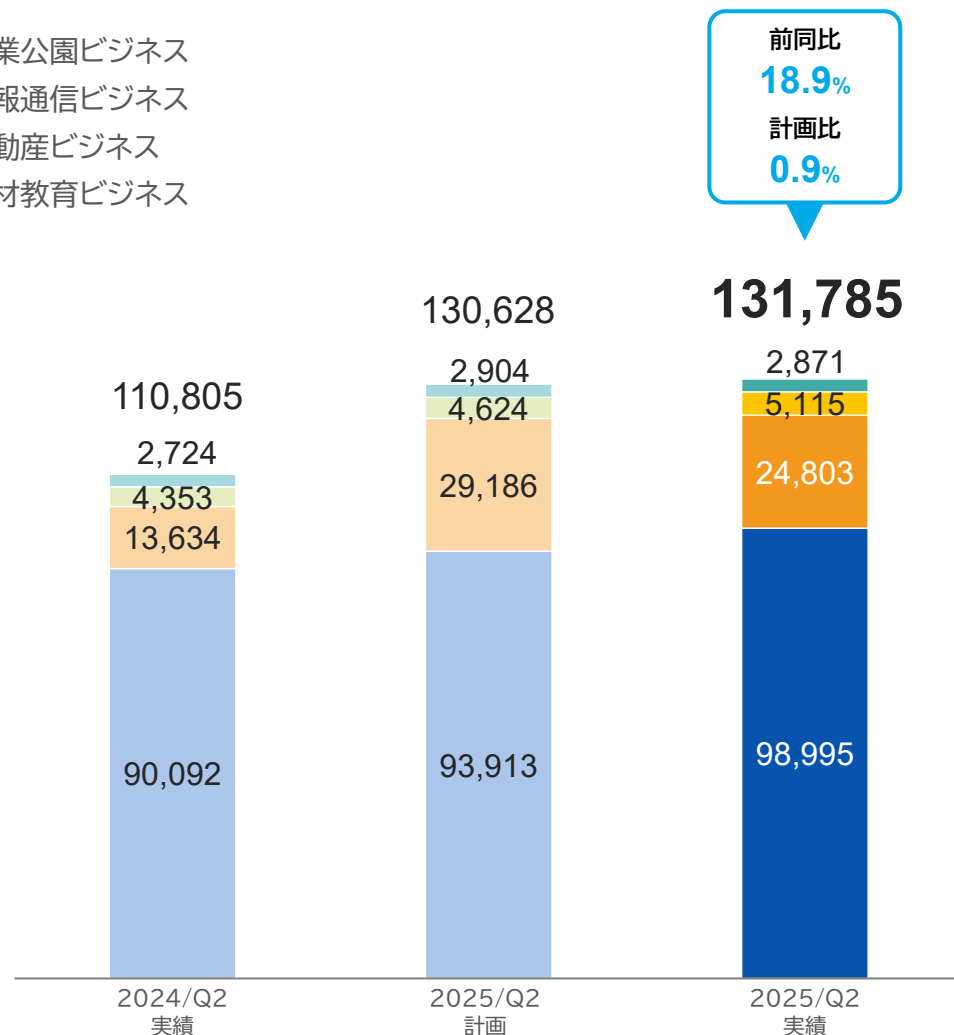
業績概況/セグメント別①

(百万円)			2024/Q2	2025/Q2	2025/Q2	計画比		前年同期比	
			実績	計画	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
	人材教育ビジネス	売上高	90,092	93,913	98,995	5,082	5.4%	8,902	9.9%
		セグメント利益	1,721	1,359	2,400	1,040	76.5%	679	39.5%
		利益率	1.9%	1.4%	2.4%				
	プロダクツHR ビジネス	売上高	53,121	55,284	58,395	3,111	5.6%	5,274	9.9%
		セグメント利益	1,175	1,005	1,715	710	70.6%	540	45.9%
		利益率	2.2%	1.8%	2.9%				
	サービスHR ビジネス	売上高	36,971	38,628	40,599	1,970	5.1%	3,628	9.8%
		セグメント利益	545	354	684	330	93.1%	139	25.5%
		利益率	1.5%	0.9%	1.7%				
不動産ビジネス	売上高	13,634	29,186	24,803	△4,382	△15.0%	11,169	81.9%	
	セグメント利益	308	1,709	2,089	380	22.3%	1,781	578.4%	
	利益率	2.3%	5.9%	8.4%					
情報通信ビジネス	売上高	4,353	4,624	5,115	490	10.6%	762	17.5%	
	セグメント利益	97	107	197	90	83.8%	100	102.6%	
	利益率	2.2%	2.3%	3.9%					
農業公園ビジネス	売上高	2,724	2,904	2,871	△33	△1.1%	146	5.4%	
	セグメント利益	171	153	61	△91	△59.6%	△109	△63.9%	
	利益率	6.3%	5.3%	2.2%					
合計	売上高	110,805	130,628	131,785	1,157	0.9%	20,979	18.9%	
	消去又は全社	60	213	226	13	6.2%	166	276.9%	
	営業利益	2,358	3,543	4,975	1,432	40.4%	2,617	111.0%	
	利益率	2.1%	2.7%	3.8%					

業績概況/セグメント別②

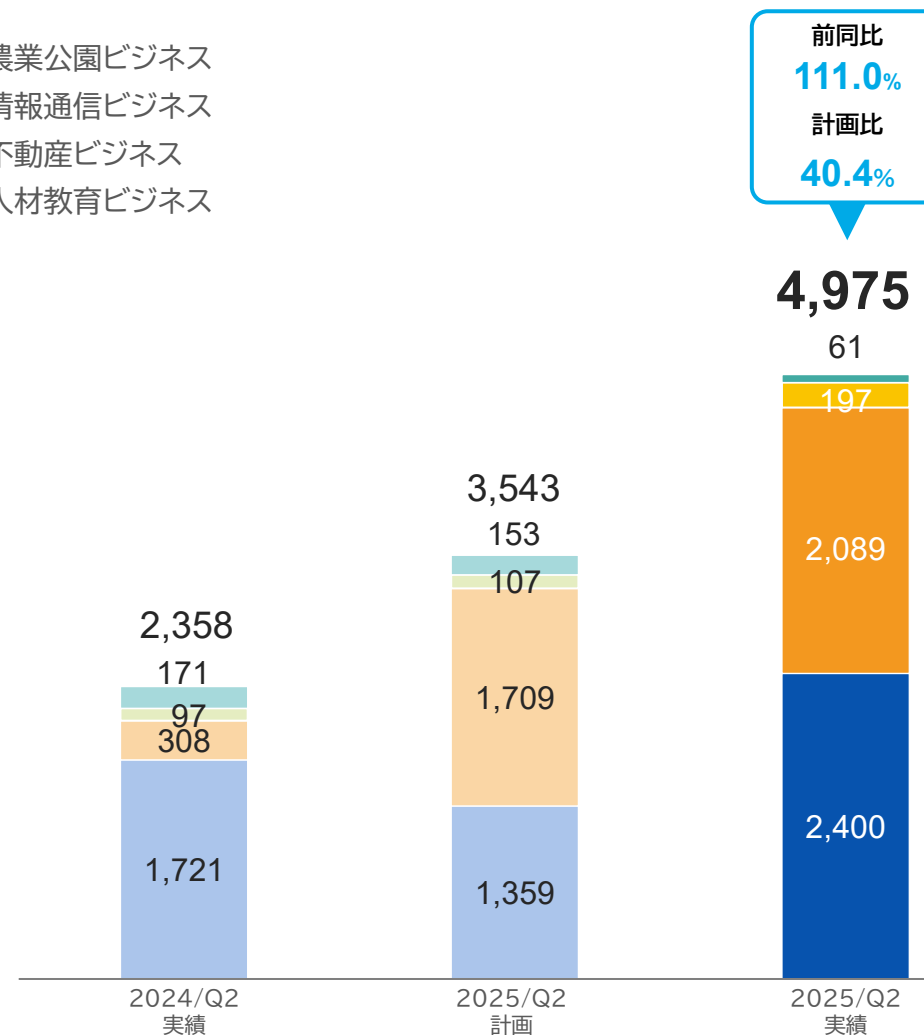
売上高 (百万円)

- 農業公園ビジネス
- 情報通信ビジネス
- 不動産ビジネス
- 人材教育ビジネス



セグメント利益 (百万円)

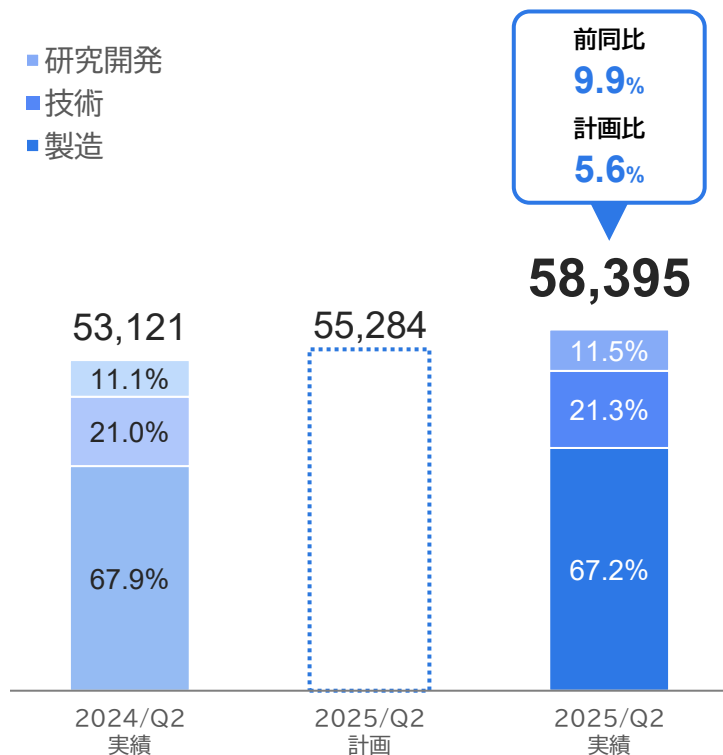
- 農業公園ビジネス
- 情報通信ビジネス
- 不動産ビジネス
- 人材教育ビジネス



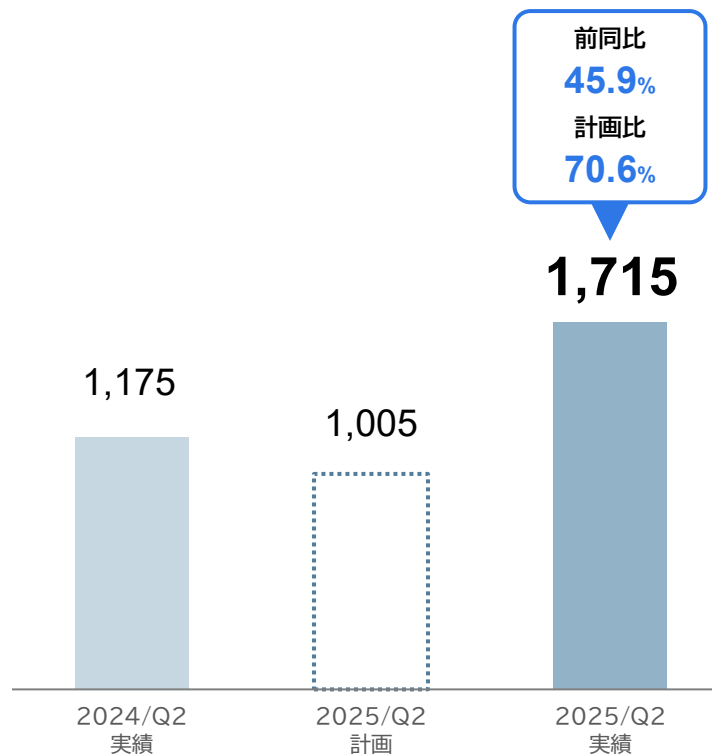
プロダクツHR事業

- AI向け中心に半導体分野が堅調に推移、前年に発生した人員シフトに関する一時的費用も解消し、増収増益
- コストコントロールに加え、自社運営採用サイトの積極的な運用などにより採用効率も向上したことから、特に利益面が上振れて推移
- 下期の米国関税政策の影響を警戒し、複数分野をカバーする強みを活かして内需関連向けを強化するなどリスク分散を図りながら慎重に事業展開
- 半導体人材育成に特化した「熊本テクニカルセンター」が4月から本格稼働。開新学園と産学連携。半導体人材の育成への貢献を目指す（詳細はP15）
- チタン加工品の製造メーカーである「トーホーテック」がグループイン。新会社「SUBARU nw Sight」を3社共同で設立（詳細はP14）

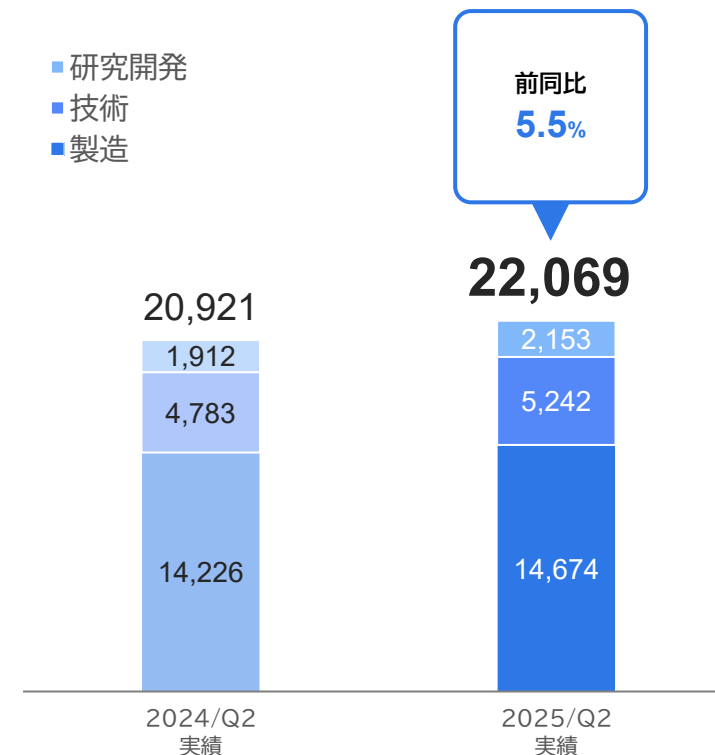
売上高 (百万円)



セグメント利益 (百万円)



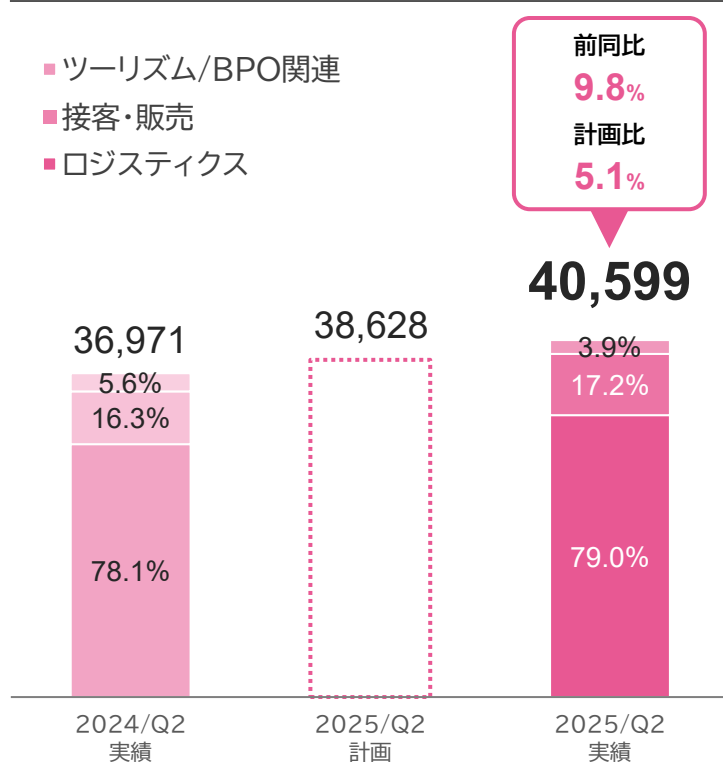
在籍数 ※3か月平均 (人)



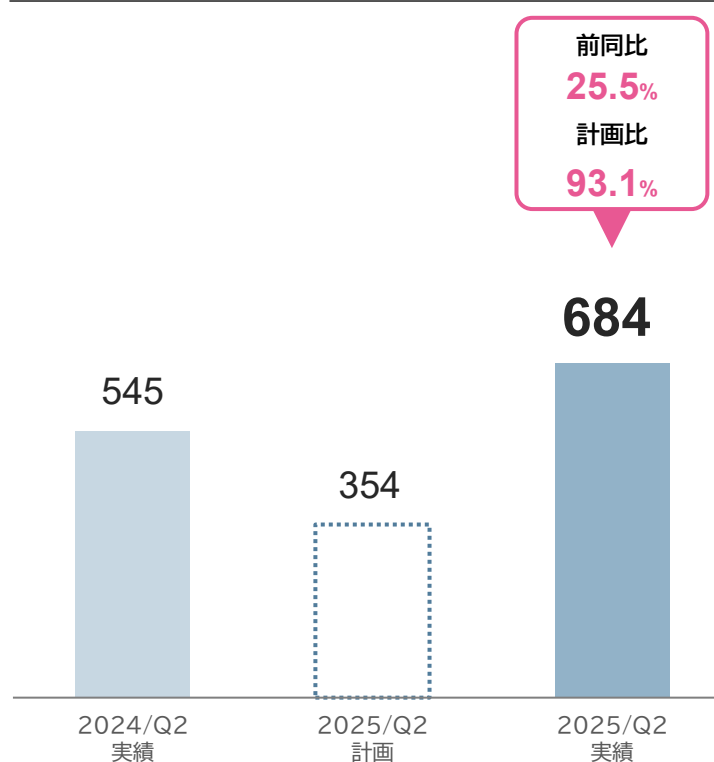
サービスHR事業

- eコマース向けやヤマト・スタッフ・サプライなどロジスティクス部門が堅調に推移し増収増益
- 物量の増加に加え、倉庫内の生産性向上や「HRサポート」の安定稼働などにより利益改善が図れ、特に利益面が上振れて推移
- 24年9月に開設した福岡県小郡市の自社運営倉庫が順調に推移していることから、本年度も9月に新たな自社運営倉庫の設置を計画（詳細はP24）
- 接客・販売とツーリズムは、4月に開幕した大阪万博関連が順調

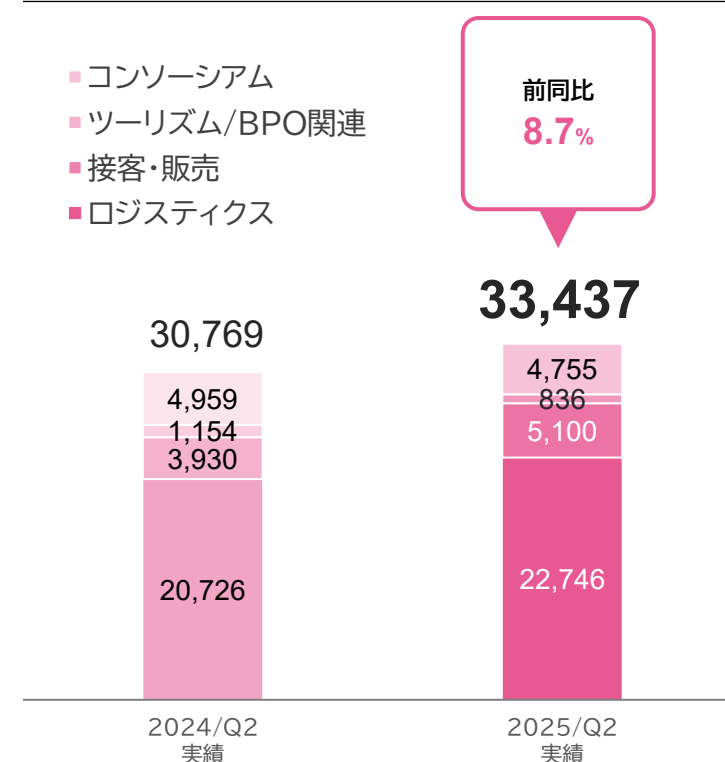
売上高 (百万円)



セグメント利益 (百万円)



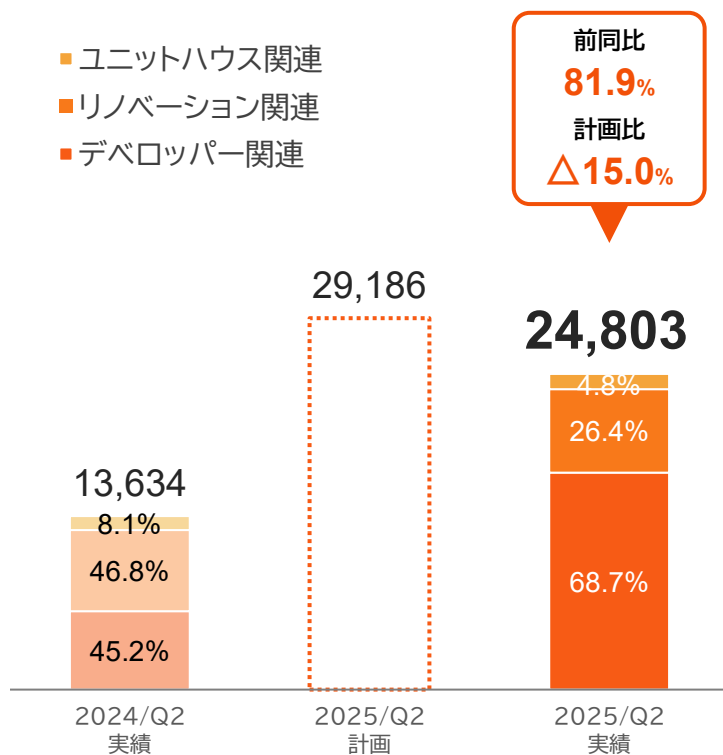
在籍数 ※3か月平均 (人)



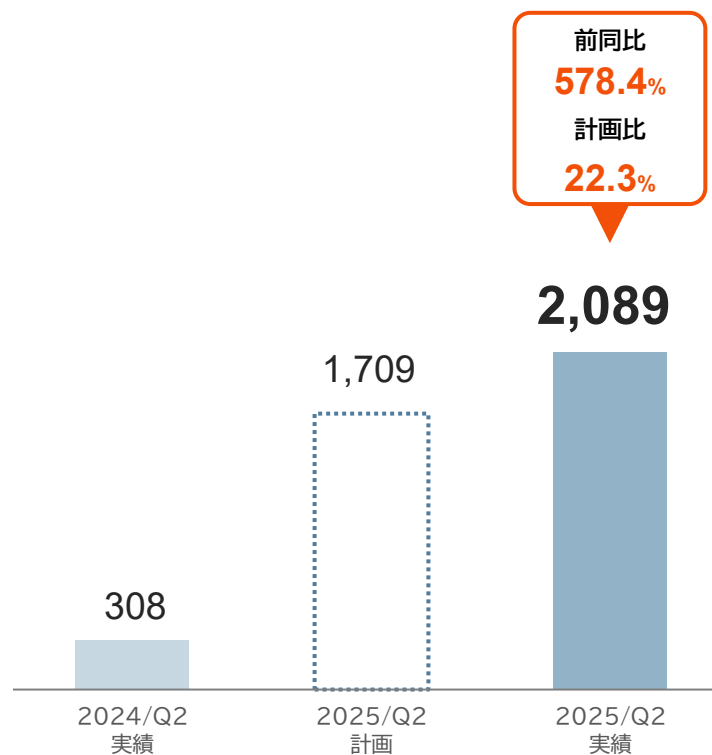
不動産事業

- 不動産価格の高止まりが続き、引き続き慎重な事業展開
- 前年同期比大幅な増収増益。前年に比べ案件が増加したことに加え、不動産価格の上昇や、緻密なマーケティングにより最適なタイミングで物件を販売したこと、および想定していたコストも削減できたことなどが奏功
- 計画比では、BIZIA小倉などの引渡しを下期以降に先送りしたことにより売上は未達となったが、利益率の高い物件の引渡しが上期に集中したことやコストが計画以下に留まり、利益は上振れて推移

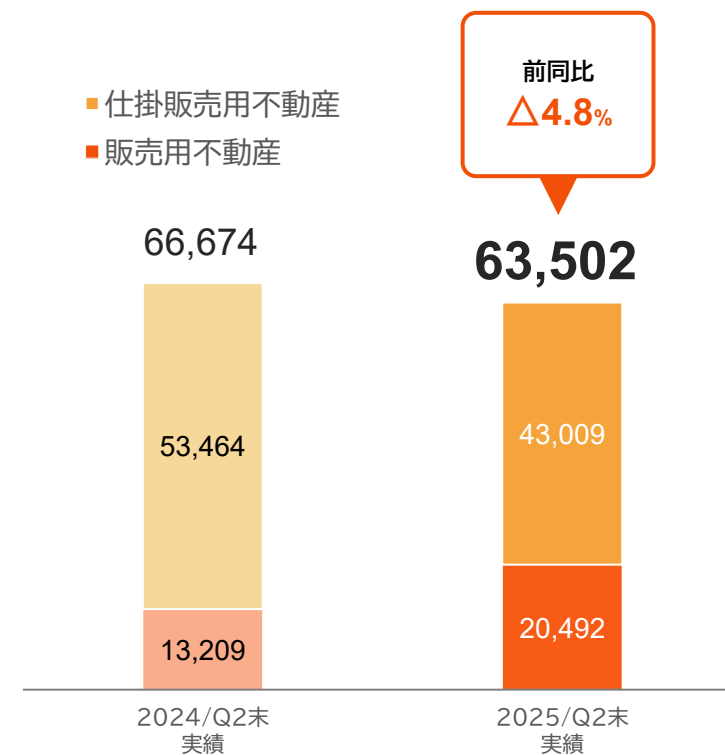
売上高 (百万円)



セグメント利益 (百万円)

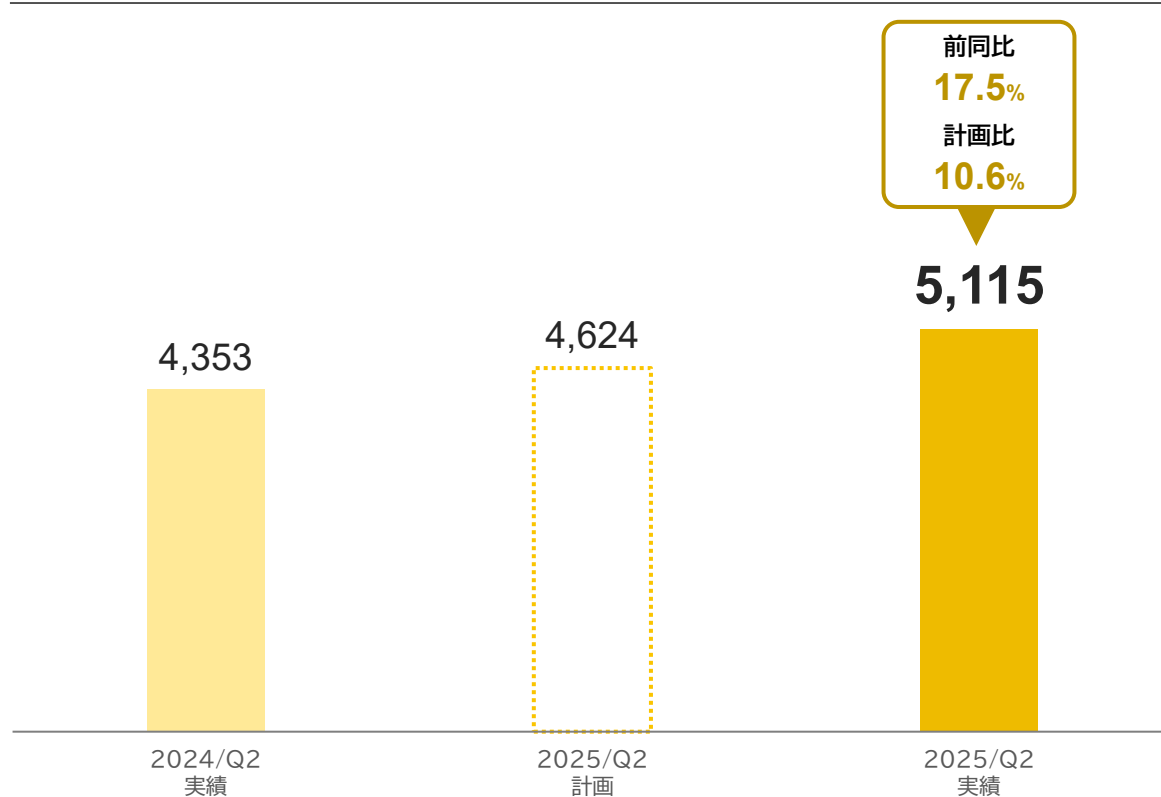


販売用・仕掛販売用不動産残高 (百万円)

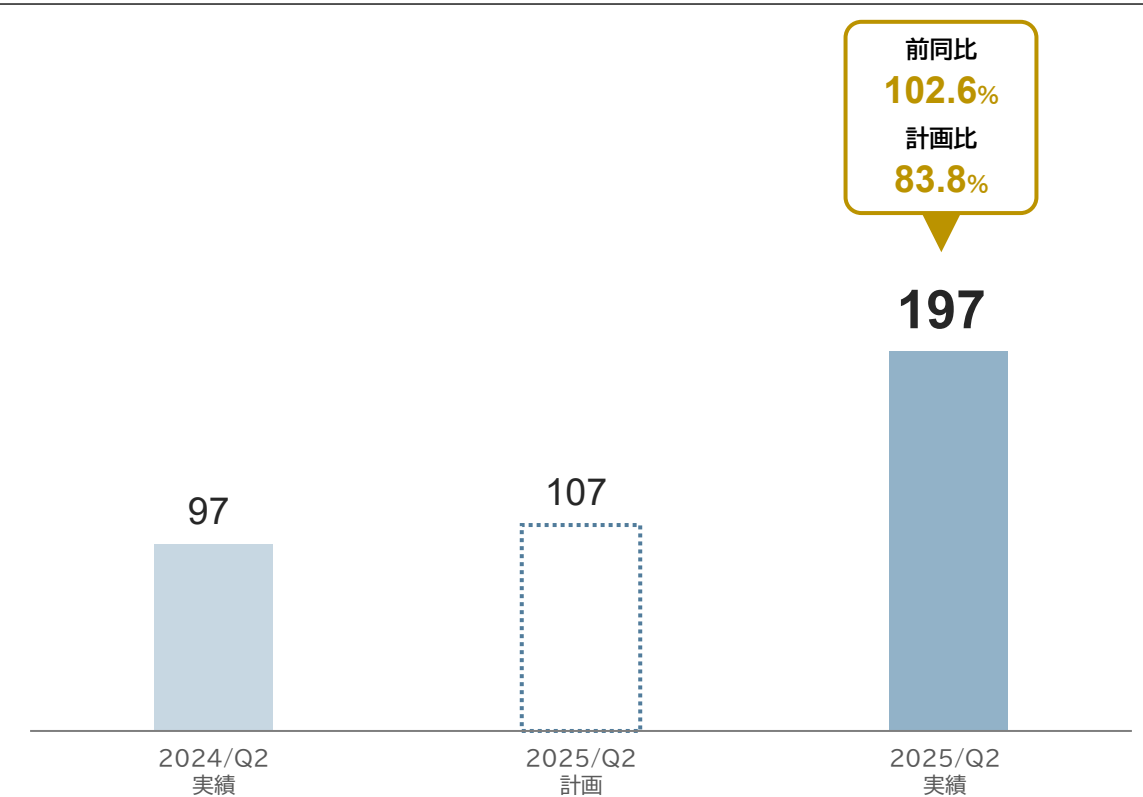


- 前年同期比増収増益。計画比でも上振れて推移。モバイルショップ運営において、これまで取り組んできたスクラップ&ビルドの成果としての各店舗の収益改善、および販促強化による販売台数増加が貢献
- 法人向けソリューション部門における中小企業向けのエネルギーコンサルティングや、コールセンター部門が堅調に推移し、利益面の底上げに寄与

売上高 (百万円)



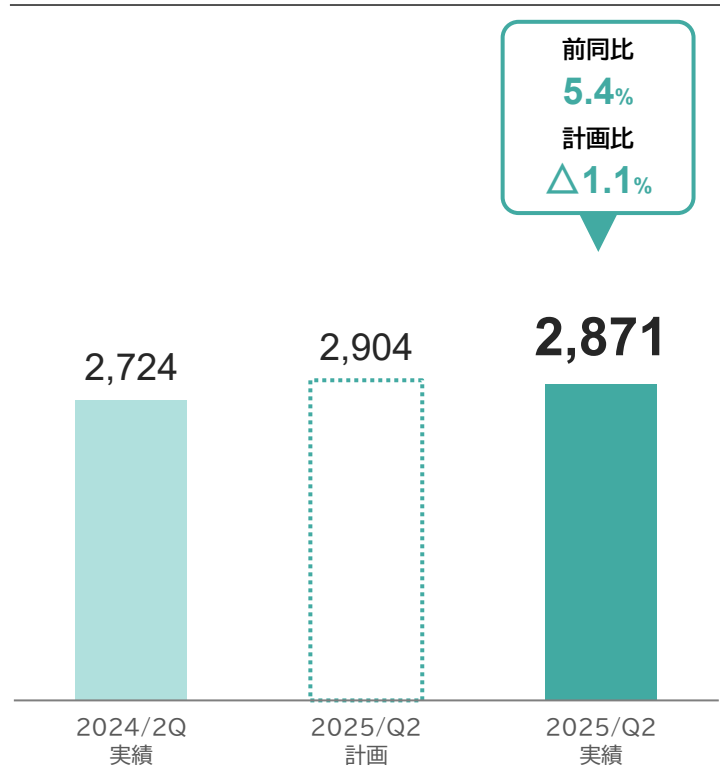
セグメント利益 (百万円)



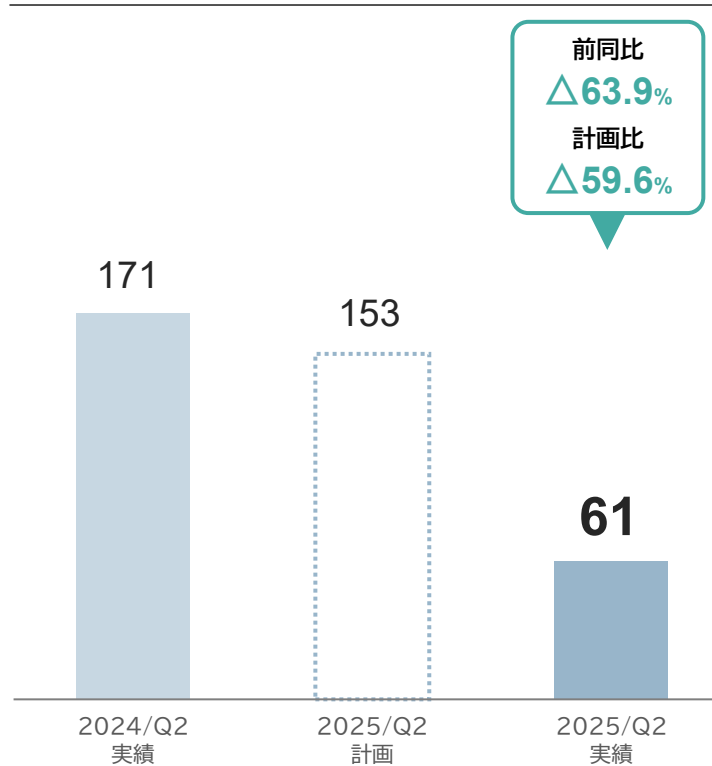
農業公園事業

- 2月の大雪と、最繁忙期である4～5月が悪天候に見舞われたことなどにより、入園者数が落ち込み苦戦を強いられた。新規受託案件の収益寄与に加え、直営施設の大型修繕や園内美化、各種コンテンツの充実を図ったことで顧客単価の上昇に繋がり、売上計画は下回ったものの増収。利益面は、入場者数の減少に加えて、原価上昇等も相俟って、計画を下回り減益
- 5か所目の直営施設となる「信州塩尻農業公園 チロルの森」が4月26日にグランドオープン(詳細はP16)。さらに、4月から新たな指定管理等案件である「吉井竜天オートキャンプ場・赤磐市竜天天文台公園」がスタート

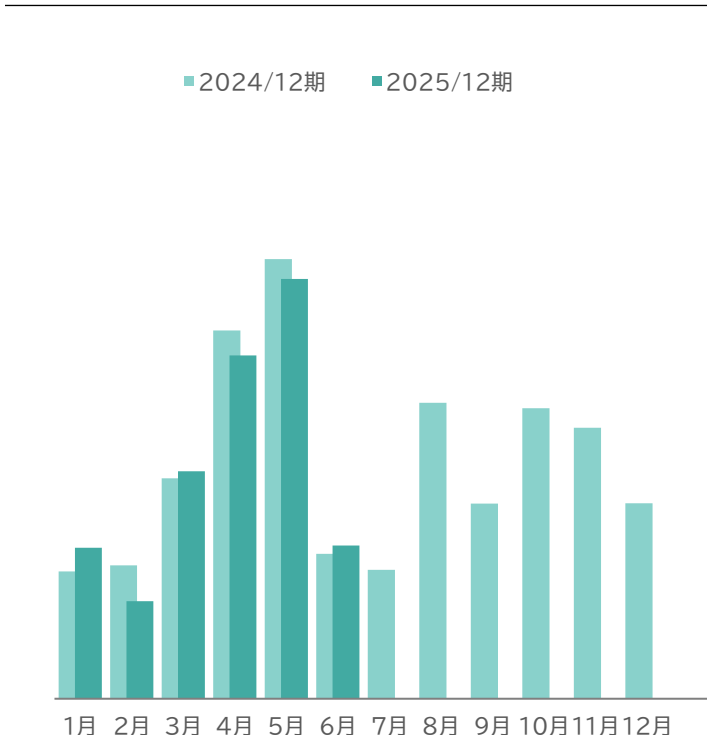
売上高 (百万円)



セグメント利益 (百万円)



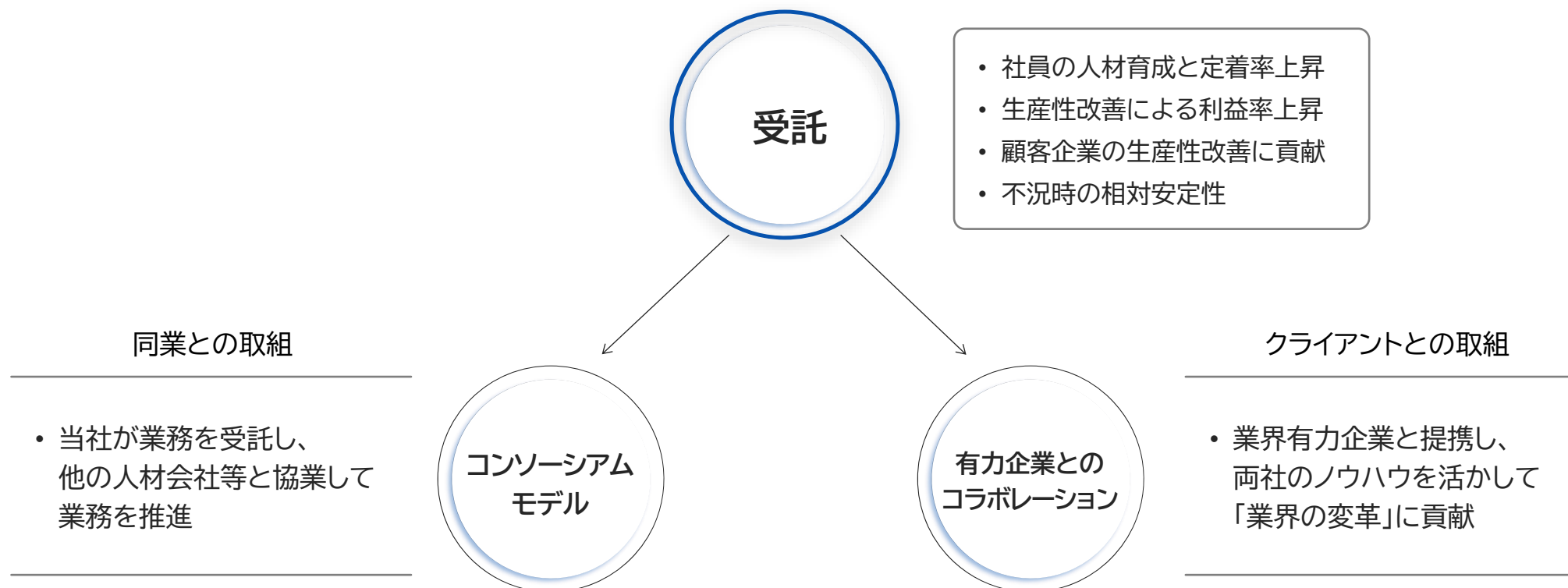
入園者数 (万人)



「受託(請負)」を核に、他の人材会社との協業、クライアントとの提携により、サステナブルな成長を目指す

Co-Sourcing
コ・ソーシング

お客様の良きパートナーとして業務にさらに踏み込み、成果を共に享受できる、進化したアウトソーシングの姿



トピックス①：「コ・ソーシング」の深化

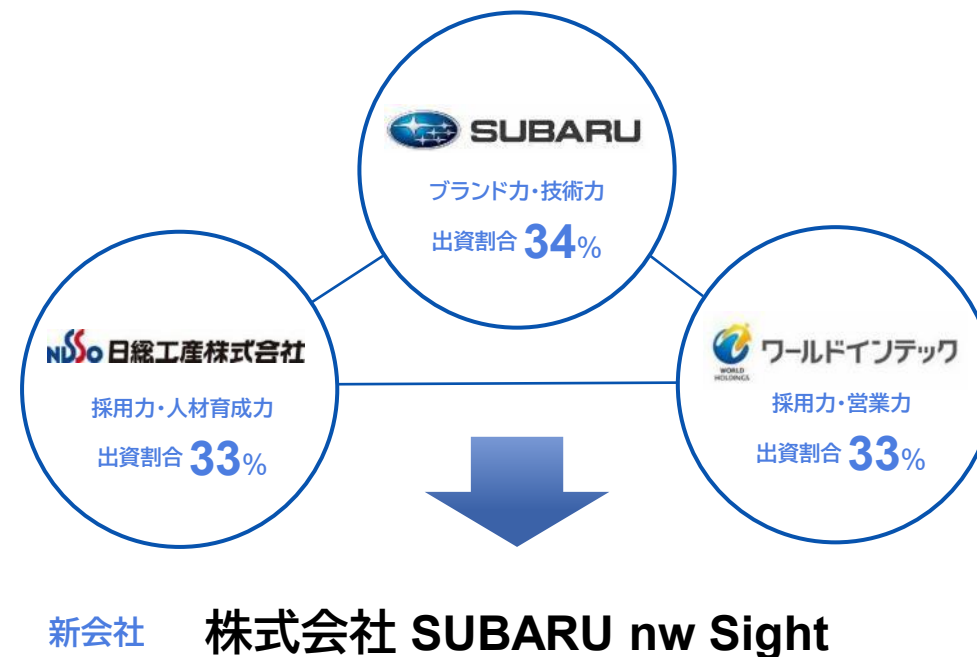
チタン加工品の製造メーカー「トーホーテック」がグループイン

- 金属チタン製造業界大手の東邦チタニウムの子会社トーホーテックの発行済株式の65%をワールドインテックが取得し、2025年3月に子会社化
- トーホーテックはチタン専門の金属加工事業を行う製造メーカー
人材教育セグメントに製造メーカーが初めてグループイン
- 人材育成を含めたシナジーの発揮と、素材産業のさらなる拡充を図る



SUBARU、日総工産 と共同で「SUBARU nw Sight」を設立

- SUBARU、日総工産、ワールドインテックの3社合弁で、人材サービスを提供する新会社「株式会社SUBARU nw Sight」（スバルニューサイト）を2025年6月に設立
- 3社の強みを活かし、取引先およびSUBARUへの人財サービスなどを提供
- 製造業全体の変化する生産活動を支える人財スキーム構築を目指す



トピックス②：半導体人材の育成・地域活性化

人材教育ビジネス

WORLD HOLDINGS

「熊本テクニカルセンター」が2025年4月に正式稼働開始

- 半導体人材の需要が高まる熊本県大津町に研修施設を新たに設置
- 最先端の半導体製造装置の実機を導入し、座学研修に加えて、実機を活用した実務研修も可能で、設備保全、組立、評価ができる優秀なエンジニアを育成
- 年間500人の半導体人材の輩出を予定



「学校法人開新学園」と半導体人材育成に関する産学連携協定

- 開新高校および熊本工業専門学校を運営する学校法人開新学園と2025年3月に産学連携協定を締結。開新学園は2025年4月に半導体関連の学科を新設
- 教材の開発や講師の派遣だけでなく、熊本テクニカルセンターも活用して最先端の半導体製造装置を用いた実践的な学びの機会を提供



徳島県鳴門市と2025年5月に連携協定を締結、地域活性化に貢献

- 当社が鳴門市に事業所及び教育研修施設を新設し、地域産業の活性化と雇用創出を目指す
- 鳴門市に製造業やIT関連企業の誘致と、新たな雇用の創出など人材育成の推進が目的
- 「徳島バッテリーバレー構想」の実現に向けて、人材育成などをサポート



トピックス③：直営施設「チロルの森」再開

農業公園ビジネス

WORLD HOLDINGS

- 「信州塩尻農業公園 チロルの森」が、2025年4月26日にグランドオープン。5か所目の直営施設。
- 園の再開に加えて、ぶどう園・ワイナリーの開設や大規模ソーラーシェアリングも行う予定
- 当社のサステナビリティのひとつである「未来のカタチ」を実現すると同時に、収益への貢献を目指す
- 「未来のカタチ」：自然を守り、地球資源を大切にし、未来を担う子供たちが健やかに成長できる環境を保つ



長野県塩尻市大字北小野相吉5050





02

2025年12月期
業績見通し

P.17

- P.18 2025年12月期通期業績見通し
- P.19 セグメント別通期業績見通し
- P.20 プロダクツHR事業 通期業績見通し
- P.22 サービスHR事業 通期業績見通し
- P.25 不動産事業 通期業績見通し
- P.26 複数事業のポートフォリオで安定成長を目指す
- P.27 株主還元

2025年12月期通期業績見通し

- 不確実性の高い状況が継続すると見込まれ、引き続き慎重な事業運営が求められる中、複数の事業ポートフォリオを持つ強みを最大限に活かし確実な安定成長を目指す。特に主力のプロダクツHR事業においては、米国関税政策の影響を警戒し、複数の分野をカバーするセグメントの強みを活かしてリスク分散を図りながら柔軟な対応を模索
- 上期の営業利益は計画比を大きく上振れたものの、下期の不確実性を考慮し、通期業績見通しは据え置き

(百万円)	2024/12 通期	2025/12 通期	前期比	
	実績	計画	増減額	増減率
売上高	242,226	281,439	39,213	16.2%
営業利益	8,593	10,179	1,586	18.5%
経常利益	8,551	9,356	805	9.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,981	5,389	408	8.2%
EBITDA	10,701	12,384	1,683	15.7%
一株当たり利益(円)	280.39	303.35	22.96	8.2%
一株当たり配当金(円)	84.2	106.2	22.0	26.1%

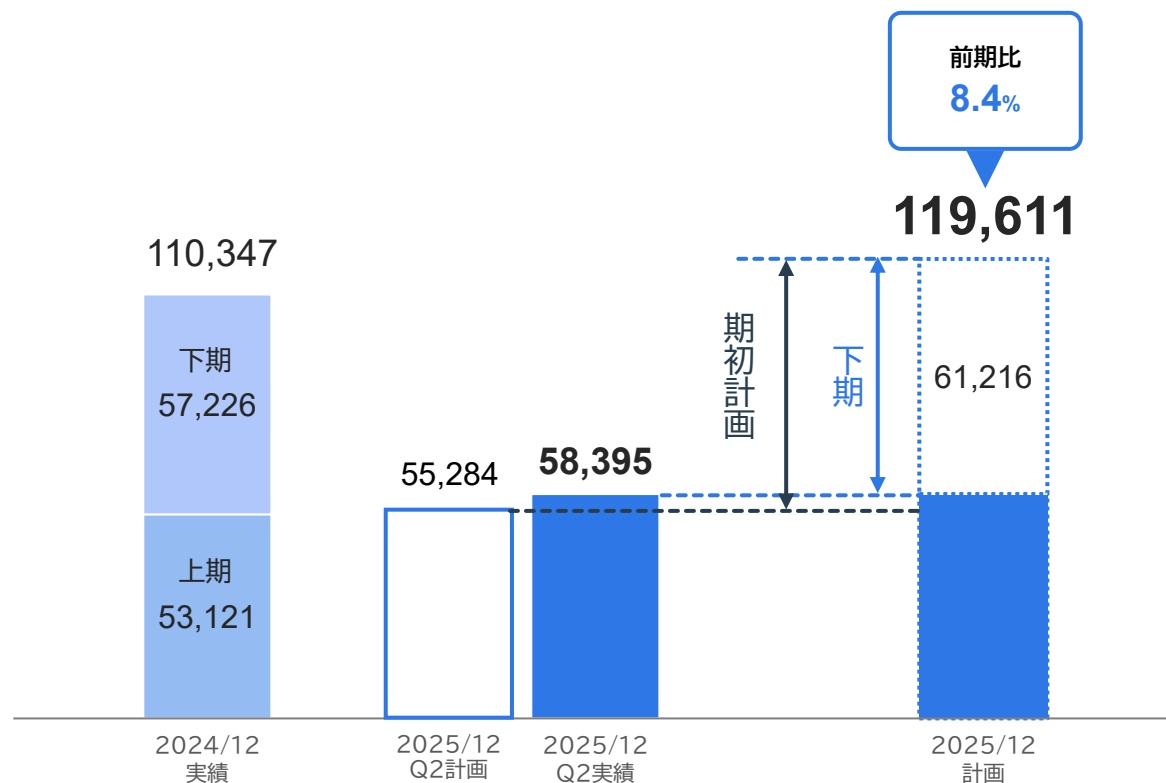
セグメント別通期業績見通し

			2024/12 通期	2025/12 通期	前期比	
(百万円)			実績	計画	増減額	増減率
	人材教育ビジネス	売上高	189,201	203,498	14,597	7.6%
		セグメント利益	5,003	5,943	940	18.8%
		利益率	2.6%	2.9%		
	プロダクツHR ビジネス	売上高	110,347	119,611	9,264	8.4%
		セグメント利益	3,308	4,402	1,094	33.1%
		利益率	3.0%	3.7%		
	サービスHR ビジネス	売上高	78,853	83,887	5,034	6.4%
		セグメント利益	1,695	1,540	△155	△9.1%
		利益率	2.1%	1.8%		
	不動産ビジネス	売上高	38,863	63,259	24,396	62.8%
		セグメント利益	3,001	3,587	586	19.5%
		利益率	7.7%	5.7%		
	情報通信ビジネス	売上高	8,703	8,991	288	3.3%
		セグメント利益	101	120	19	18.8%
		利益率	1.2%	1.3%		
	農業公園ビジネス	売上高	5,457	5,690	233	4.3%
		セグメント利益	169	181	12	7.1%
		利益率	3.1%	3.2%		
	合計	売上高	242,226	281,439	39,213	16.2%
		消去又は全社	317	347	30	9.5%
		営業利益	8,593	10,179	1,586	18.5%
		利益率	3.5%	3.6%		

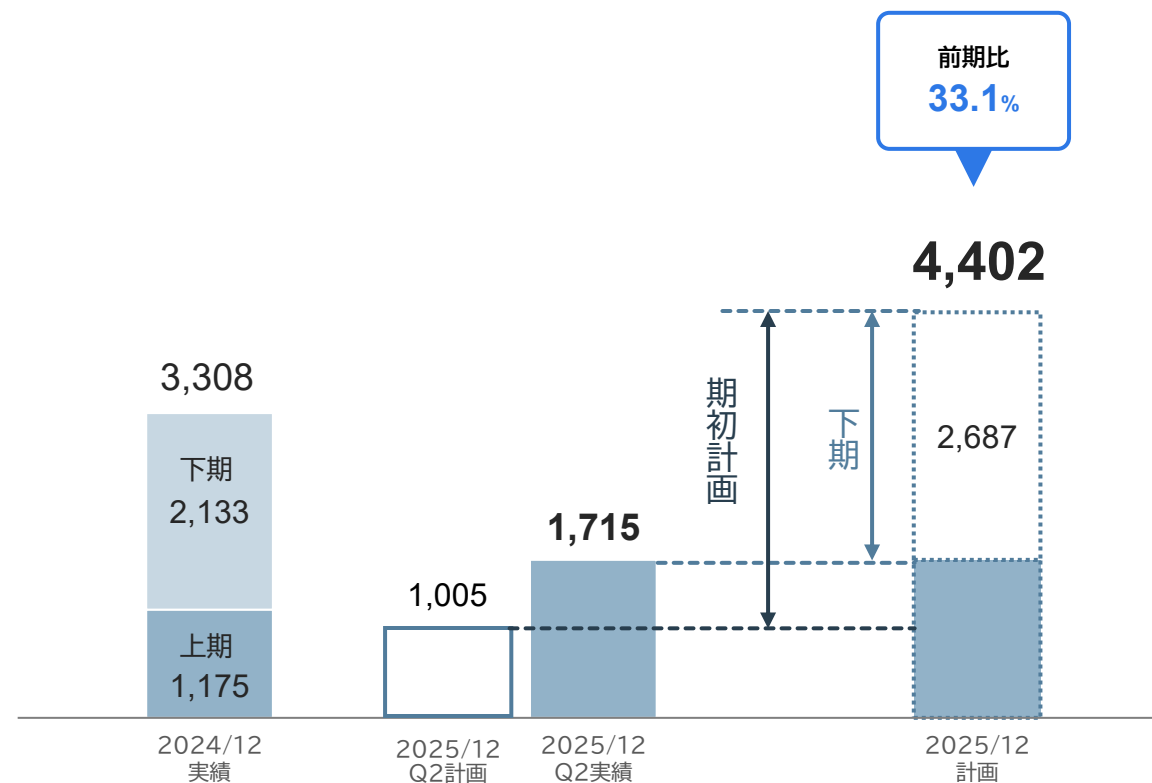
プロダクツHR事業 通期業績見通し

- 上期は、半導体関連が堅調に推移したことなどから、売上利益ともに計画を上回り進捗
- 下期は、さらなる半導体関連の追加オーダー対応、機械・製造装置関連の回復、新卒入社社員の稼働開始などで業績の底上げを見込む
- 米国関税リスクなど不確実性が高まる中、多様な領域・業種をカバーする強みを活かしてリスク分散を図りながら期初計画達成を目指す

売上高 (百万円)



セグメント利益 (百万円)

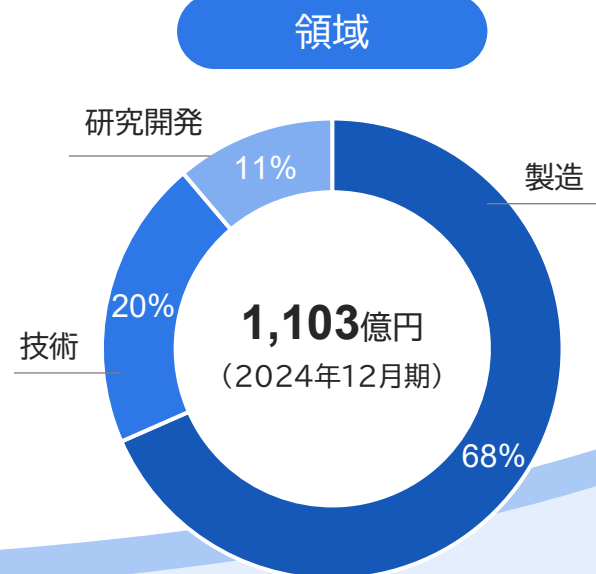


プロダクツHR事業 多様な領域・業種カバーにより成長

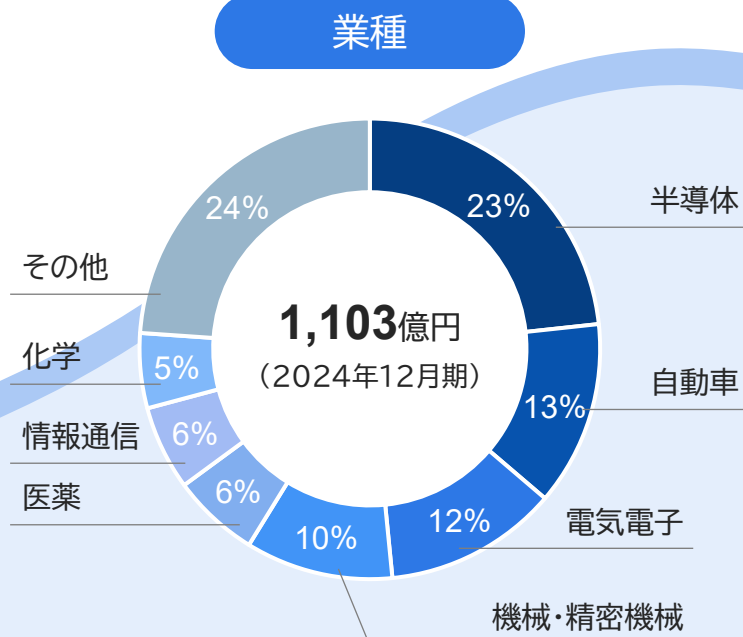
- 幅広い領域と多様な業種をカバーすることでリスク分散を図り、経済の波に左右されにくい安定的な成長基盤を構築
- 研究開発から技術開発・製造・アフターサービスまで「シームレス」に受託することで、企業先でのシェアを拡大し売上と利益の成長を図る
- 幅広い分野をカバーすることにより、社員のキャリアアップ・キャリアチェンジの可能性を広げ、エンゲージメントも向上

多様な領域・業種をカバーする強みを活かして成長

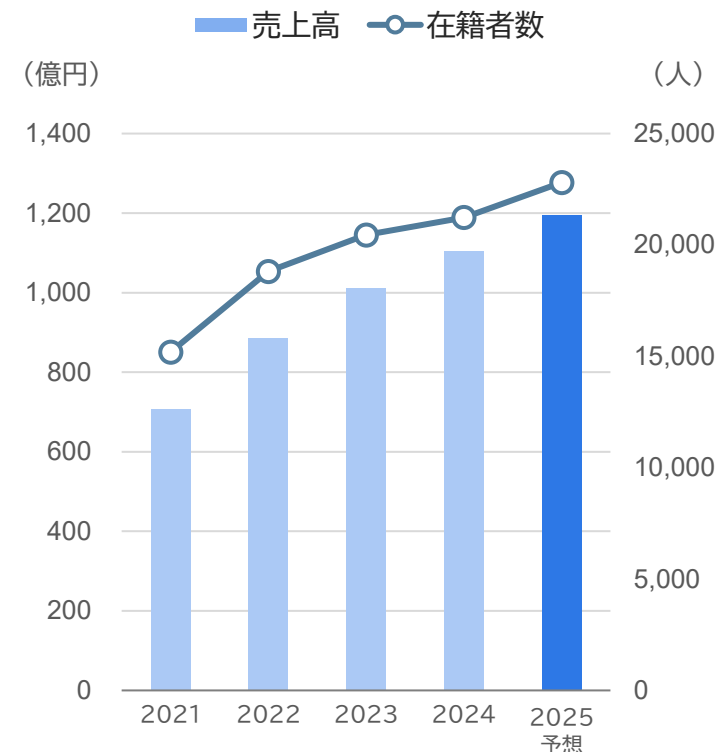
- ・ ものづくりの「川上～川下」まで幅広い領域をシームレスにカバー



- ・ 多様な業種をカバー
- ・ 特定業種調整局面では好調業種に社員をシフト



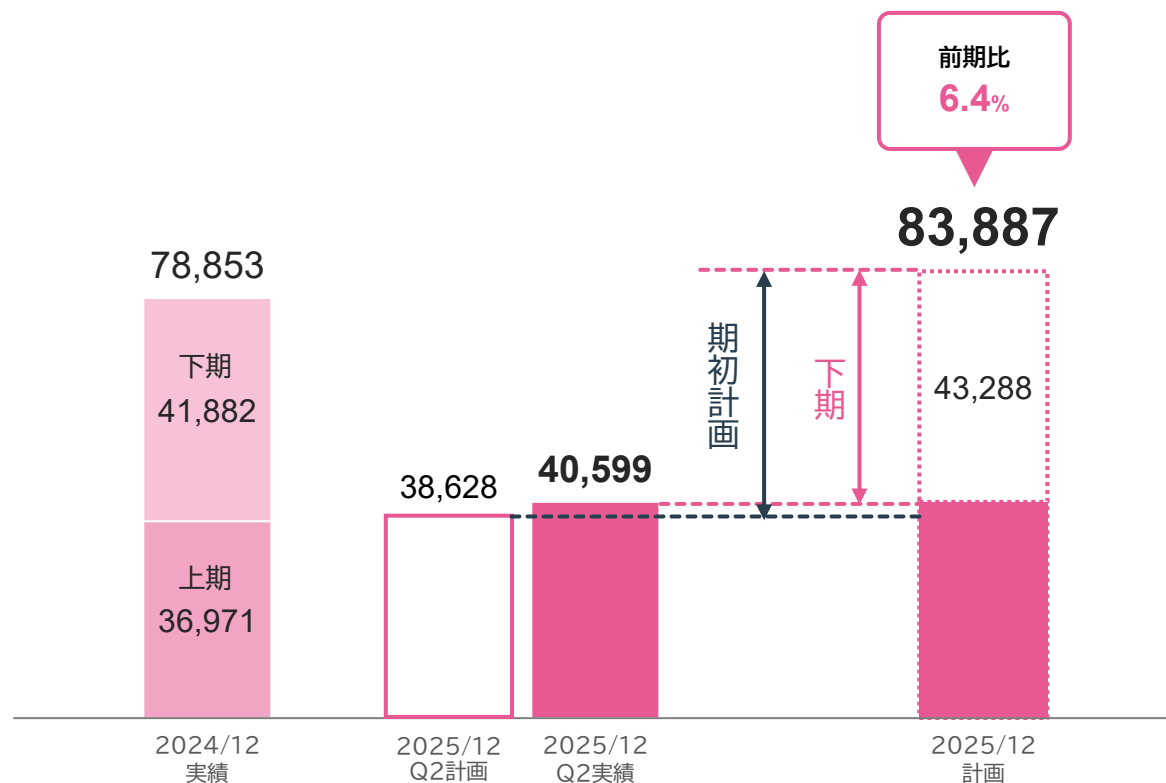
売上高と在籍者数は順調に増加



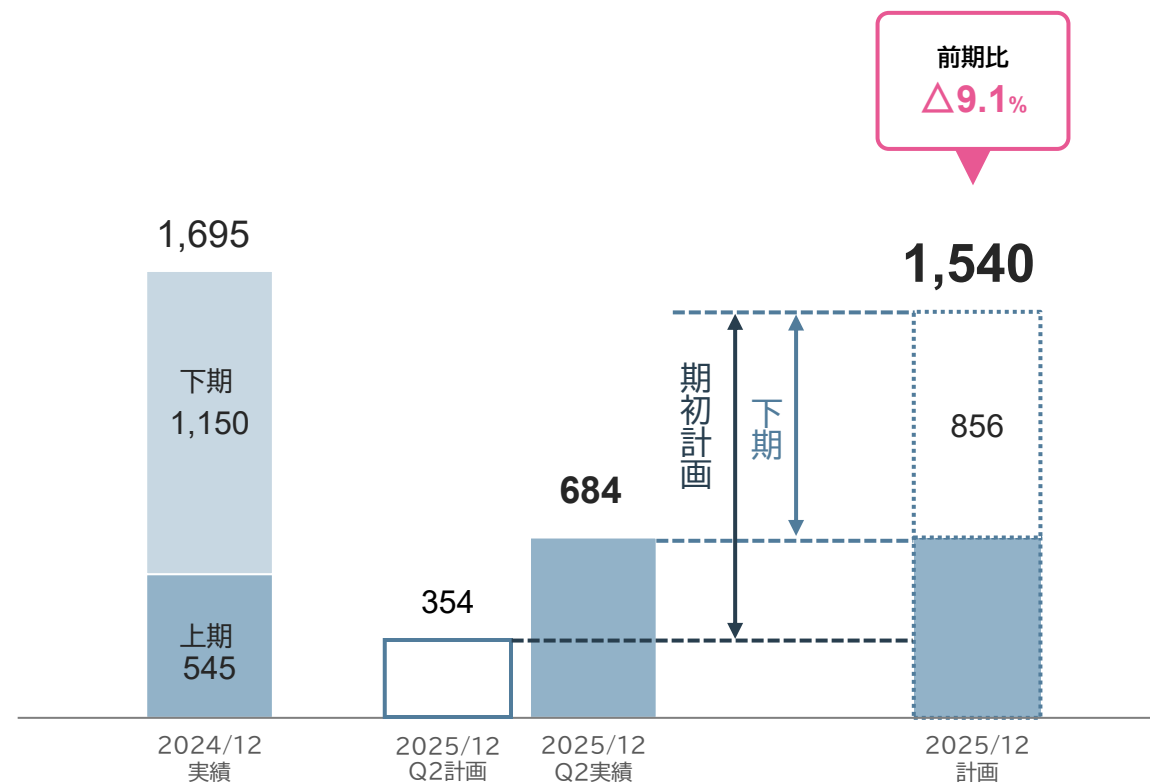
サービスHR事業 通期業績見通し

- 上期は、主力のロジスティクス部門が堅調に推移し、売上利益ともに計画を上回り進捗
- 下期はロジスティクス部門の年末繁忙の季節性を確実に捉え、新しい自社運営倉庫稼働に伴う投資負担を吸収し、期初計画達成を目指す
- 接客・販売、ツーリズムも、大阪万博の追加オーダーなどにより業績の底上げに寄与する見通し

売上高 (百万円)

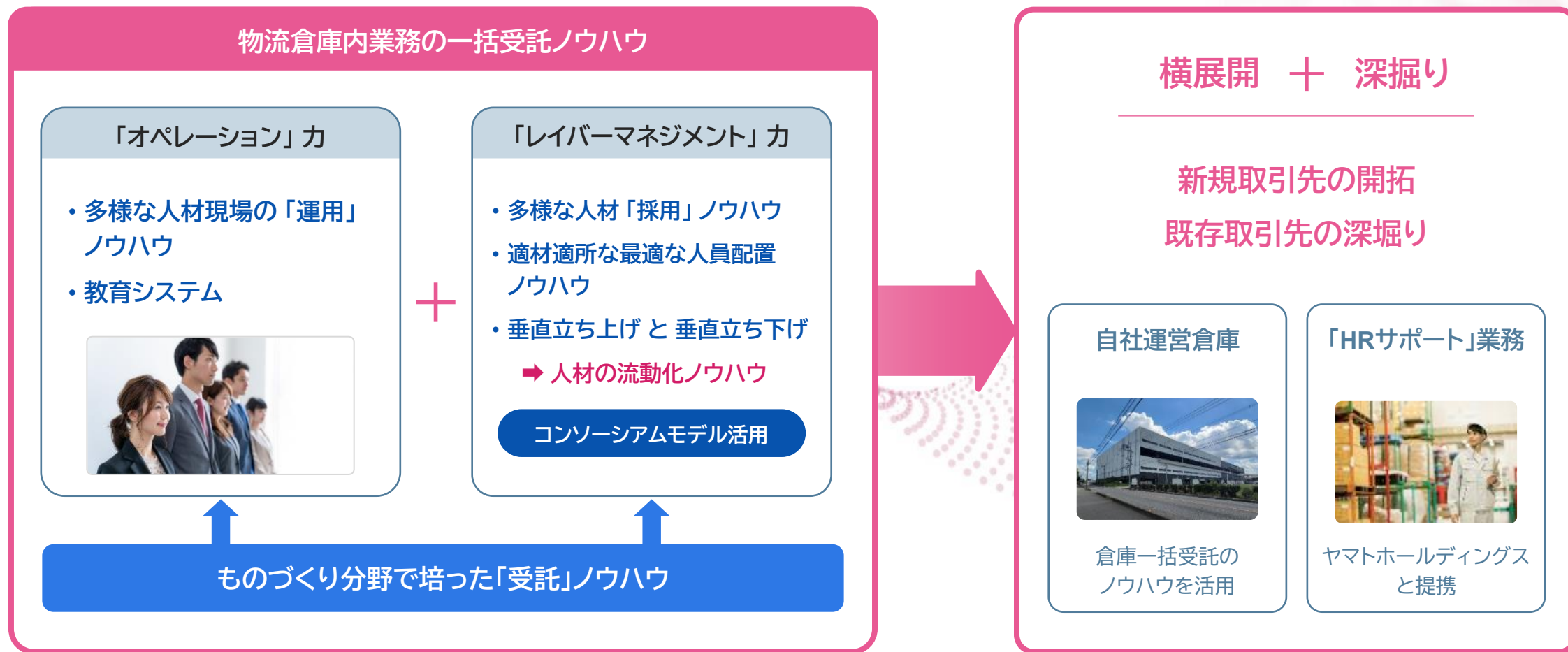


セグメント利益 (百万円)



サービスHR事業 物流倉庫一括受託ノウハウの横展開

- ロジスティクス分野で培った「倉庫一括受託」および「レイバーマネジメント」ノウハウの横展開でさらなる成長を目指す



サービスHR事業 自社運営倉庫の展開

- 自社運営の倉庫で倉庫内業務を一括受託。既存顧客とのビジネスのさらなる拡大と、ノウハウの横展開による新規顧客開拓を模索
- 2024年9月に稼働した一号案件「福岡小郡倉庫」は順調、稼働開始早々に投資コストを回収し黒字、2025年12月期は通期で収益に貢献
- 2025年9月には自社運営倉庫の二号案件となる「福岡久山倉庫」が稼働予定

福岡小郡倉庫

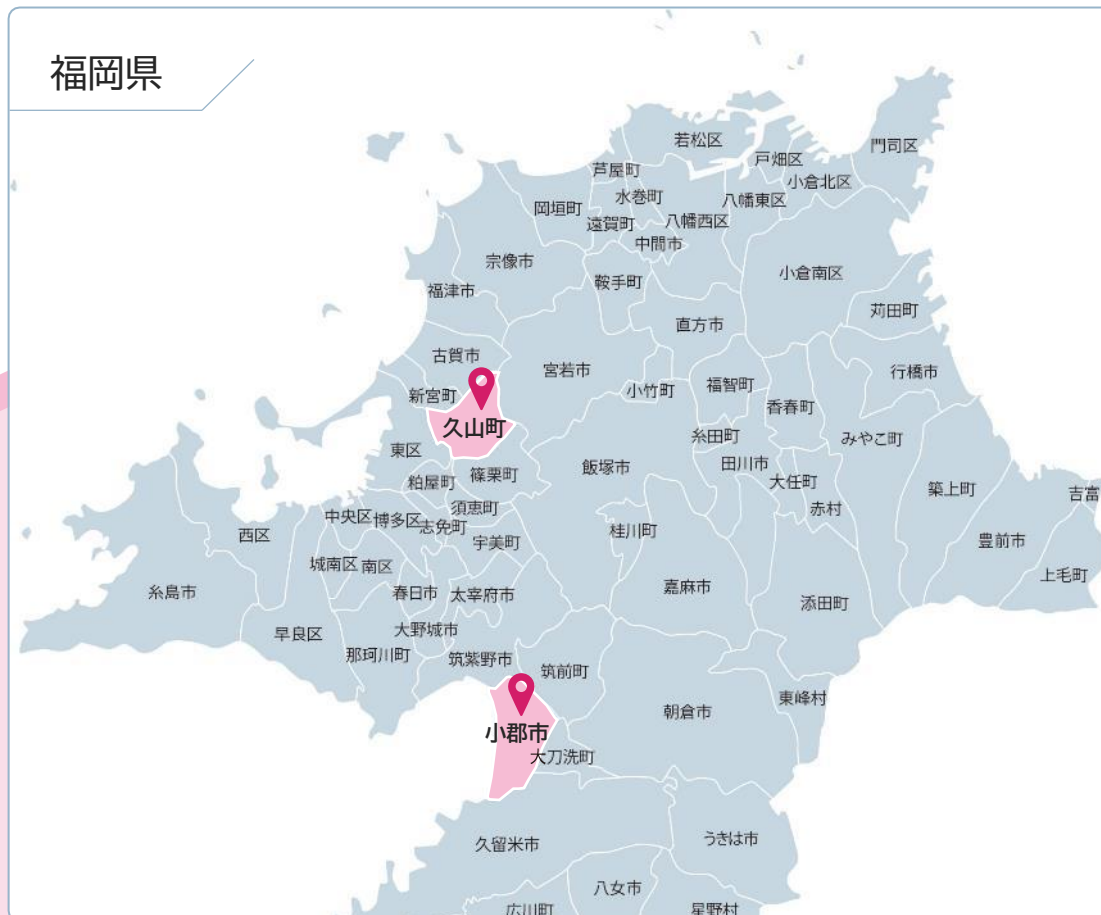
施設名称	福岡小郡倉庫
業務開始	2024年9月
所在地	福岡県小郡市923-12 (鳥栖ICより約2.7km)
賃貸面積	11,890坪 (4階建ての3階・4階)

福岡久山倉庫

施設名称	福岡久山倉庫
業務開始	2025年9月予定
所在地	福岡県久山町山田2761-41(福岡ICより約4.4km)
賃貸面積	9,904坪 (3階建ての2階・3階)



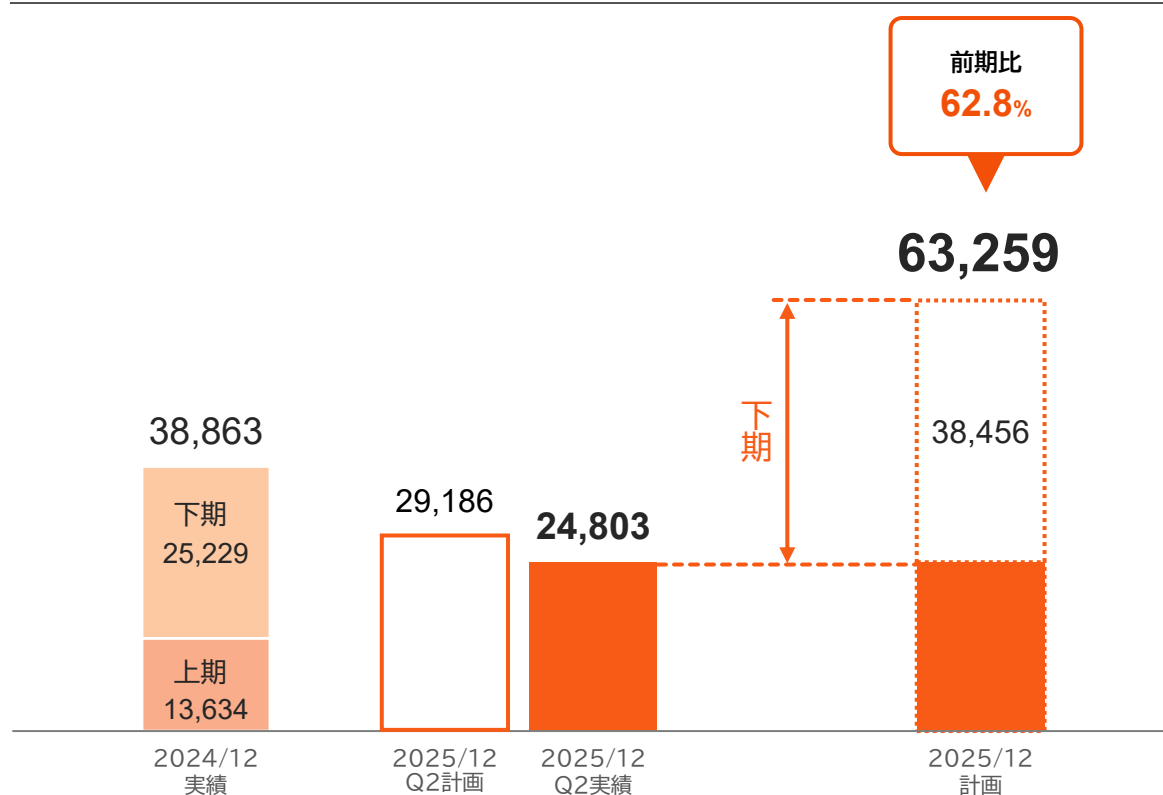
福岡県



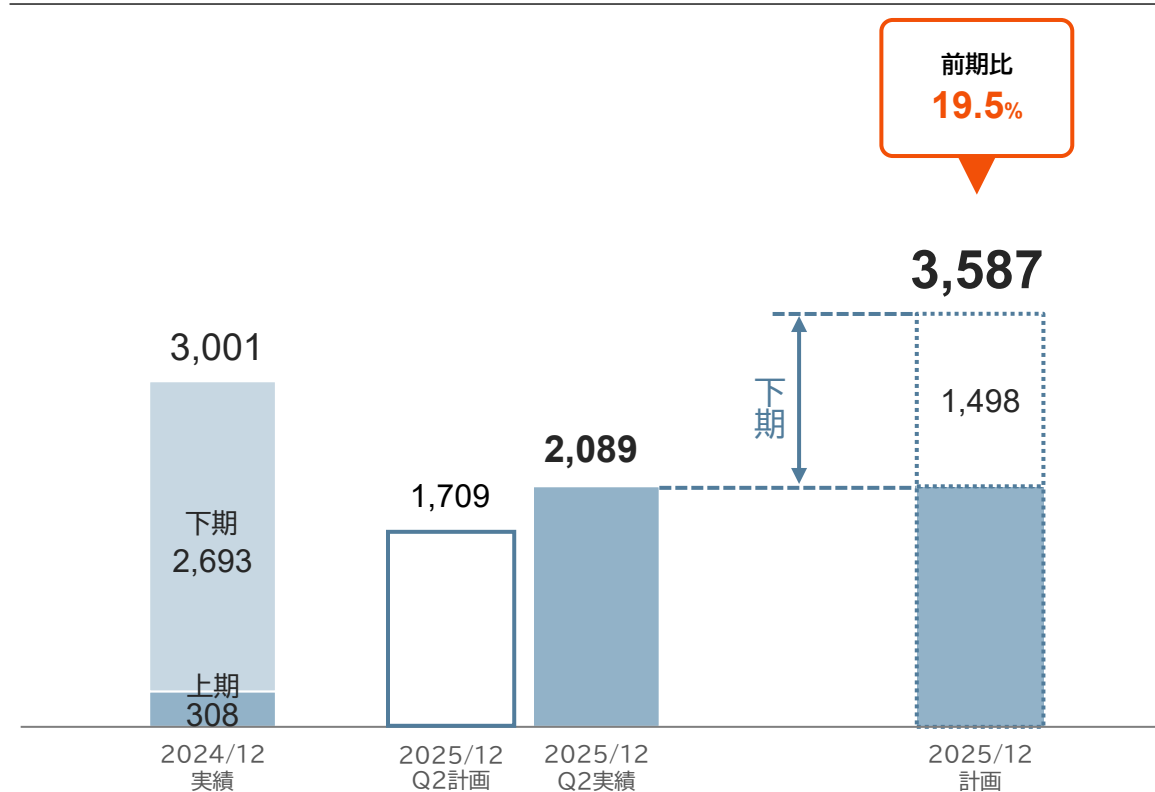
不動産事業 通期業績見通し

- 上期は、BIZIA小倉等の引渡しを先送りしたために売上高は計画下振れだったが、年度計画には影響なし
- 利益面では、緻密なマーケティングによる各物件の販売価格上昇や、想定していたコストも削減できたことに加え、物件の入り繰りがある中で利益率の高い物件が上期に集中したこともあり、上振れて推移
- 下期の引渡し計画に対する契約等は順調に推移、通期では期初計画通りの着地を見込む

売上高 (百万円)

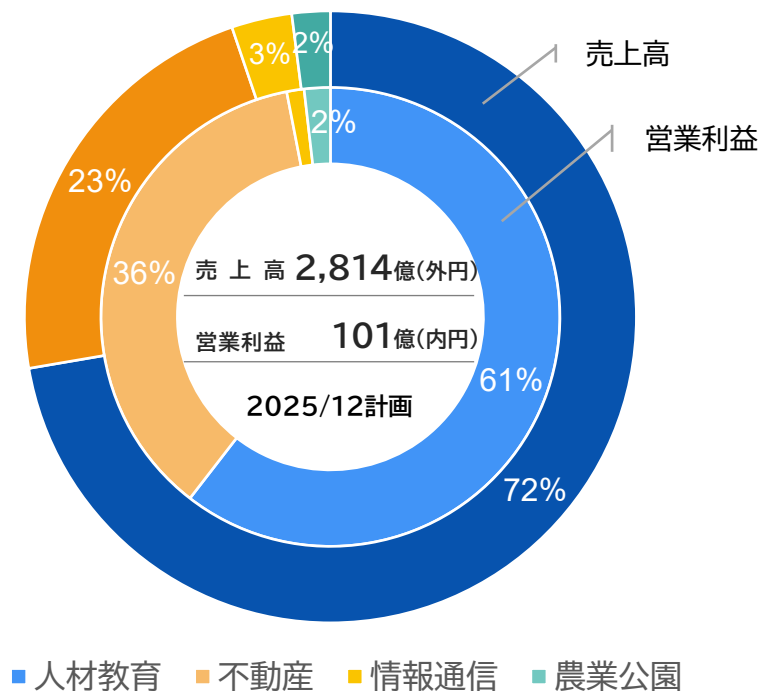


セグメント利益 (百万円)

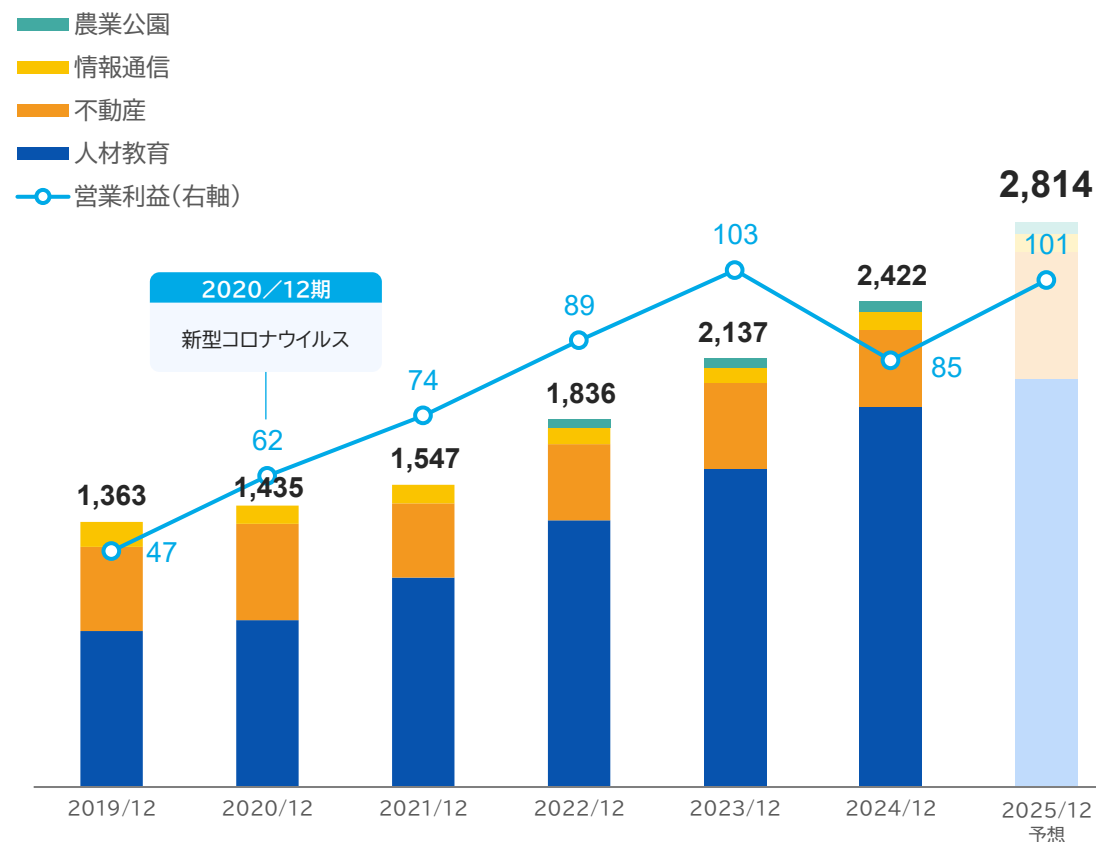


複数事業のポートフォリオで安定成長を目指す

不確実性の高い局面だからこそ、当社の強みである複数事業のポートフォリオを活かし、
リスク分散を図りながら安定成長を目指す



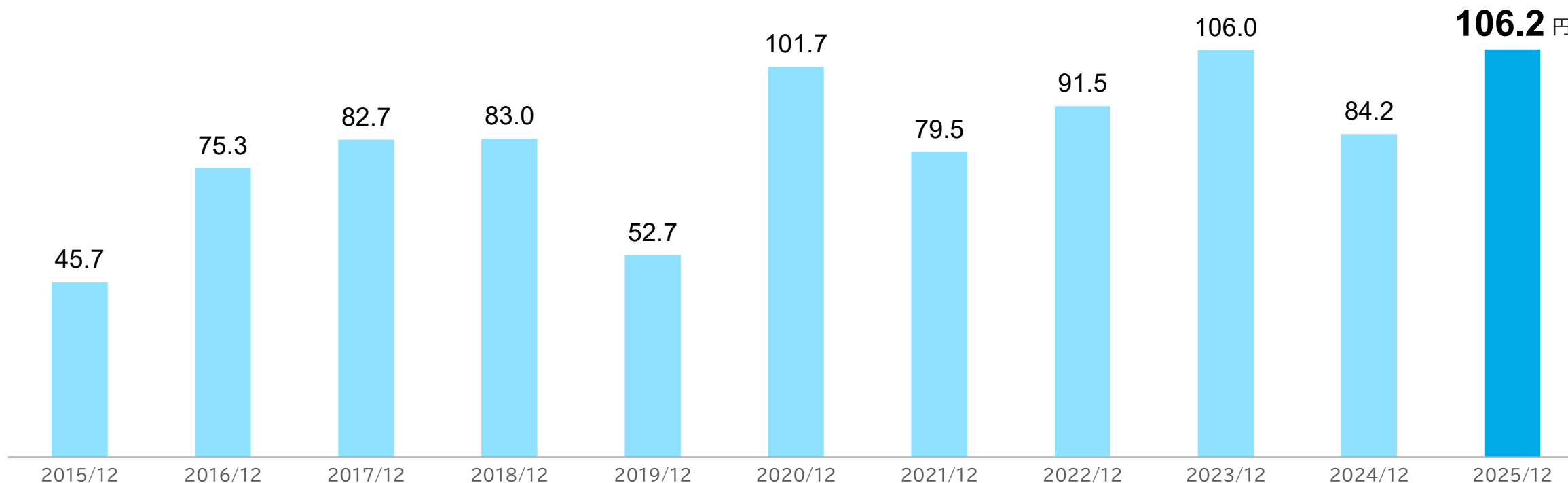
売上高と営業利益 (百万円)



* 2022年12月期からセグメント変更をしており過去も訴求修正

株主還元 配当性向を35%に引き上げ

- 配当性向を30%から35%へ引き上げる。将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた利益配分を行うことを基本方針としているが、株主への利益還元を一層充実させるため、2025年12月期から配当性向を従来の30%から35%を目安に変更し、安定的かつ継続的な配当成長を目指す
- 2025年12月期は、配当性向を35%に引き上げることで、配当予想も106.2円に増配





03

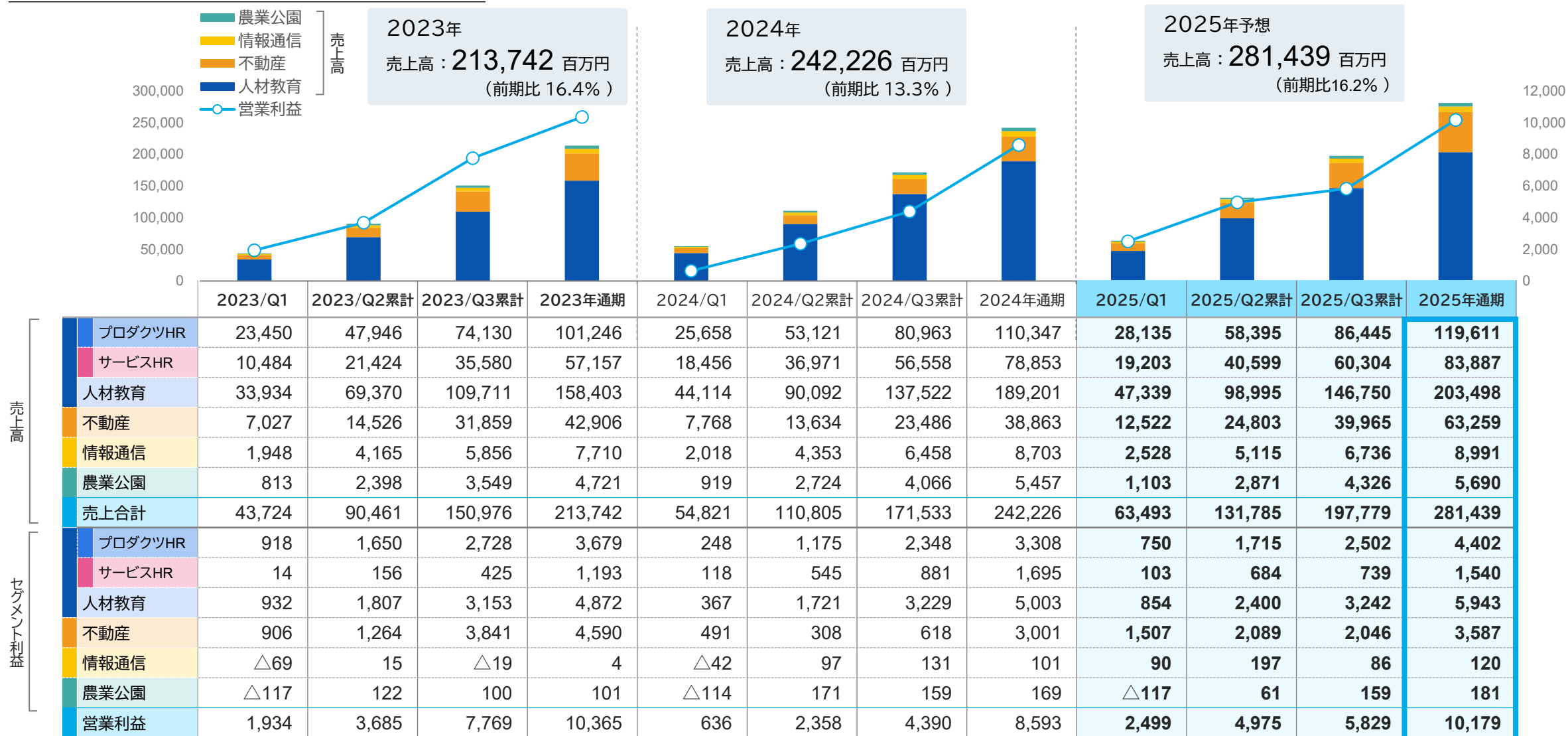
Appendix 会社案内

P.28

- P.29 2023-2025 四半期推移・予想
- P.30 財政状態 B/S
- P.31 資本コストや株価を意識した経営
- P.32 当社グループの存在意義(パーパス)
- P.33 4つの事業のパーパス
- P.34 価値創造プロセス
- P.35 サステナビリティへの取組
- P.36 主な沿革
- P.37 主なグループ会社
- P.38 事業ポートフォリオ
- P.39 人材教育ビジネス
- P.47 不動産ビジネス
- P.50 情報通信ビジネス
- P.51 農業公園ビジネス
- P.54 業績推移
- P.55 中期経営計画
- P.56 本資料に関するお問い合わせ

2023-2025 四半期推移・予想

売上高・営業利益の推移 (百万円)

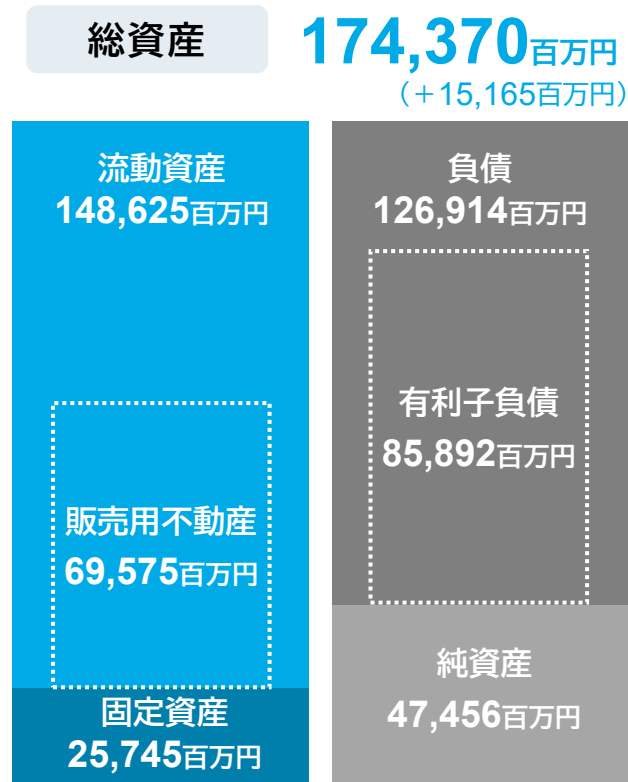


財政状態 B/S

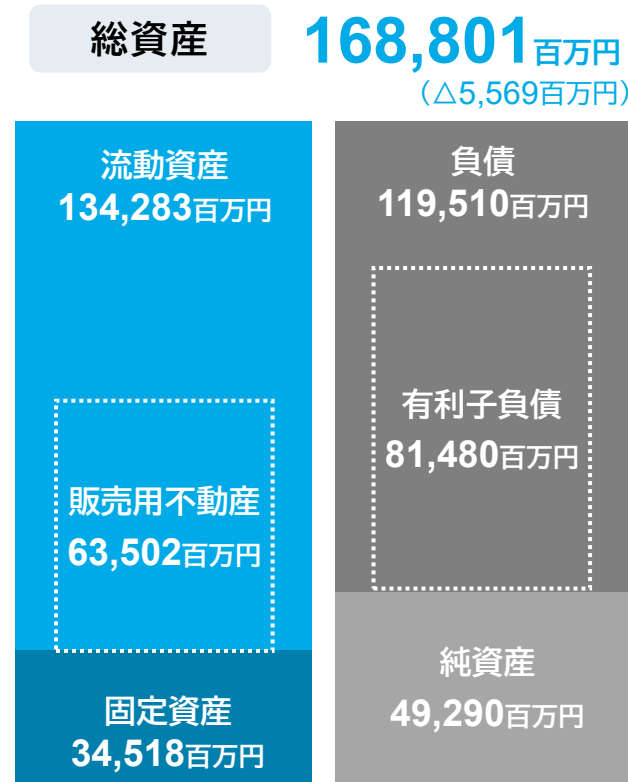
- 売却に伴う販売用不動産の減少や現預金の減少により、総資産は55億円減少、一方で有利子負債を返済し、負債も74億円減少
不動産自社物件の増加などから有形固定資産が70億円増加
- 利益計上等から純資産が前期末比18億円増加、一方で総資産を圧縮し、自己資本比率は27.1%となり前期末比1.6ポイント上昇

* SPC: Special Purpose Company(特別目的会社)

2024年12月期末



2025年12月期Q2末



主な増減要因

流動資産		(百万円)	
現預金	42,739	→	35,724
受取手形及び売掛金	26,562	→	27,202
販売用不動産	69,575	→	63,502
固定資産			
有形固定資産	10,911	→	17,881
のれん	8,126	→	7,617
投資有価証券	1,437	→	3,355
負債			
有利子負債	85,892	→	81,480

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

- 当社は株主資本コストを10%~11%と認識、2024年12月期実績のROEは11.8%、25年12月期も11.7%予想と、株主資本コストを上回るROEを達成していると認識
- PBRの上昇に向けて、株主還元の強化に加え、中期的にも株主資本コストを上回るROEを維持しつつ利益成長を目指す

ROEの維持・向上

売上高純利益率 の維持・向上

人材教育ビジネスを中心に利益成長による純利益の増加と売上高純利益率の向上を図る

- ・ 2025年12月期の営業利益は前期比18%増益予想だが、売上高純利益率は1.9%とやや低下する予想。しかしながら、中期的には人材教育ビジネスを中心に純利益の増加と利益率向上を図る
 - ▶ プロダクツHRでは受託先の拡大と業界の多様化を一層進め、持続的な成長を図るとともに、川上分野強化により利益率改善を図る
 - ▶ サービスHRはコンソーシアムやコラボレーションを活用しながら成長を図る。さらに、自社運営倉庫やレイバーマネジメント業務を強化することで、利益率の改善も図る
 - ▶ 不動産事業は慎重なリスクマネジメントを行いつつも、土地開発の強みを活かして利益率を維持しつつ、サステナブルな成長を図る

総資産回転率の 維持・向上

人材教育ビジネスの売上成長により全社の回転率の維持・向上を図る

- ・ 資産効率の高い人材教育ビジネスの売上成長により、全社での総資産回転率の上昇につなげる
- ・ 不動産ビジネスは慎重なリスクマネジメントを継続し、在庫回転率を意識した経営を行う

健全な 財務レバレッジ維持

D/Eレシオを意識したリスクマネジメントを行い、財務安全性を維持した経営を行う

- ・ 2025年12月期から配当性向を従来の30%から35%に引き上げ、株主還元の強化と自己資本充実の両立を図る
- ・ 自己資本比率は25~30%程度を維持しながら、財務安全性の確保と健全な財務レバレッジを両立する
- ・ 不動産ビジネスではD/Eレシオを意識した慎重なリスクマネジメントを行い、借入による過度なレバレッジを取らない

世界中にあらゆる
人が生きるカタチを
創造することで
人々の幸せと社会の
持続的発展を実現する

世界中の人々が
より生き活きと活躍し生活できれば
この世界はもっと幸せにあふれ、
発展し、よりよい世界になっていく

私たちの使命は
そんな生きやすく活力あふれた社会を
創っていくことです



4つの事業のパーパス

「働く」カタチ

あらゆる人々に適材適所の「仕事」を探し
活き活きと働く喜びを感じてもらうとともに
教育を通して人がもつ潜在能力を引き出し
人の可能性を開花させることで
産業の発展に貢献する

人材教育



「便利と安心安全」のカタチ

新たに登場する「IT」インフラを世に普及し
人々に便利さを広めることで
安心安全な生活を送れる環境を創り
社会の豊かさに貢献する

情報通信



「まちづくり」のカタチ

人が生活する上での基本となる
快適な「街」をデザインすることで
活き活きと生きられる環境を提供し
自然環境・地球資源を大切にしまちづくりで
社会に貢献する

不動産



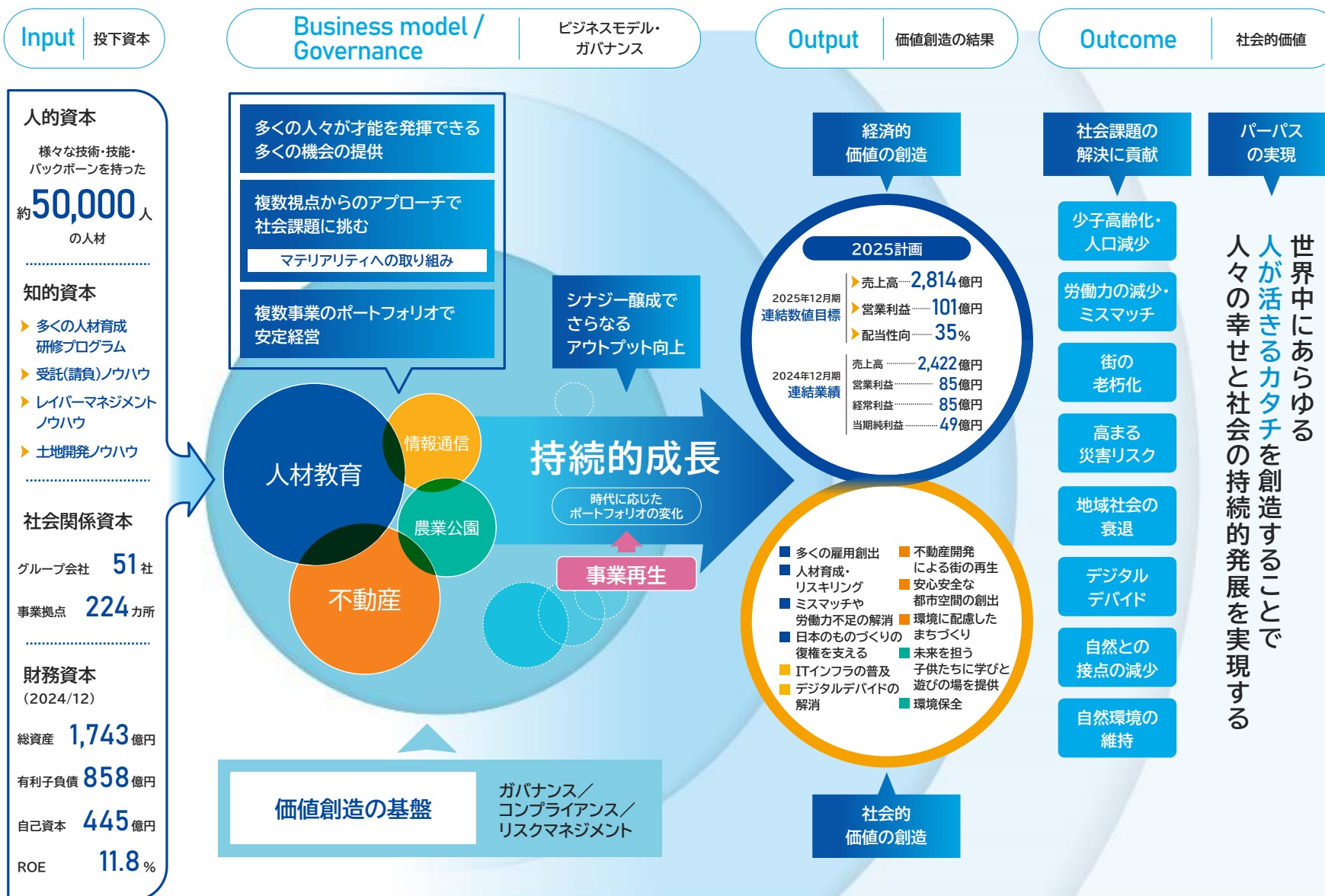
「未来」のカタチ

自然環境・地球資源を大切にするとともに
未来を担う子供たちの「成長」に必要な
育成環境を提供することで
社会の持続的発展を下支えする

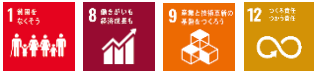
農業公園



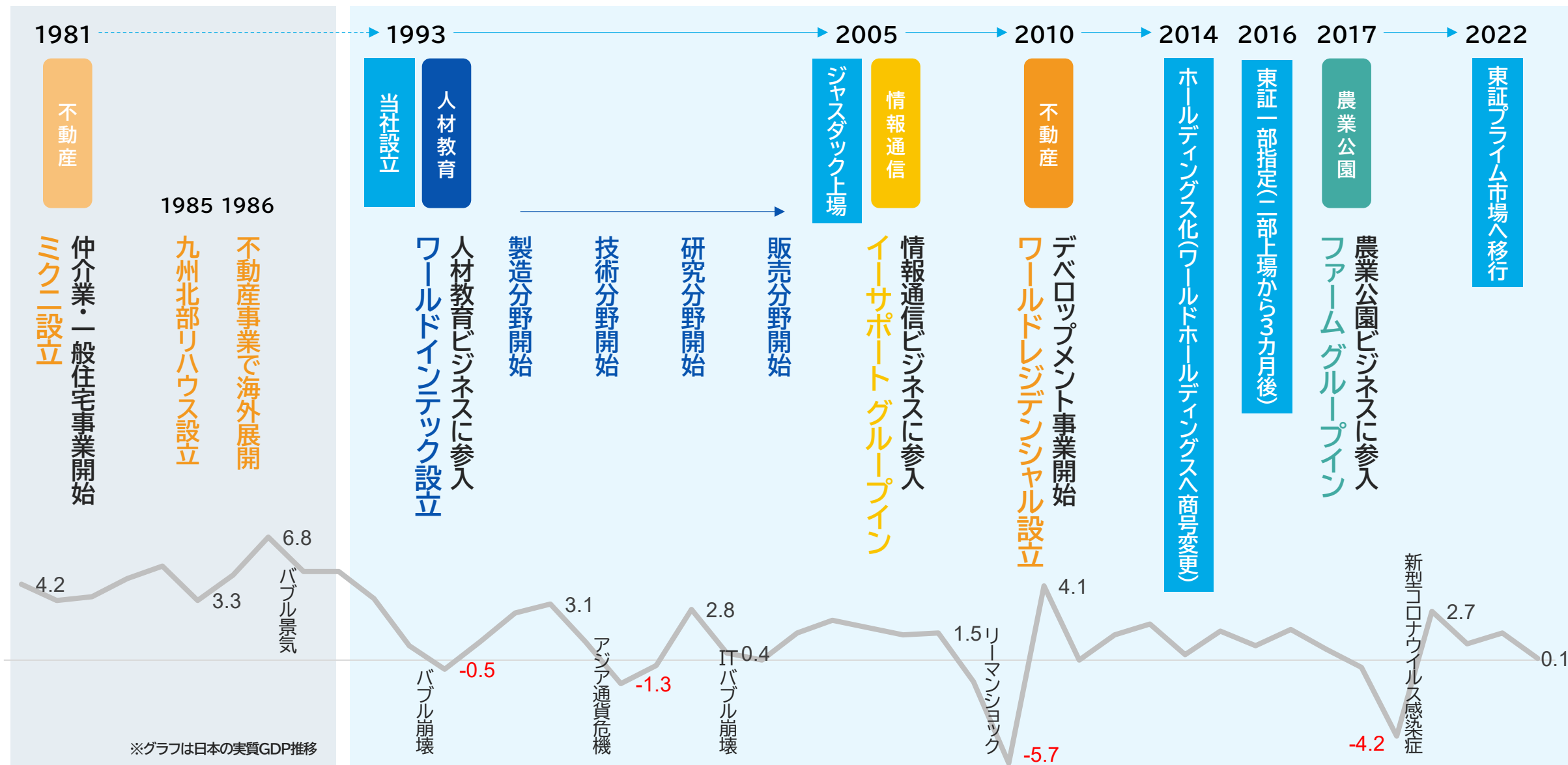
価値創造プロセス



サステナビリティへの取組

	マテリアリティ(重要課題)	価値創造	存在意義
人材教育	- 多くの雇用を創出し、社会の持続的発展に貢献する - 人材育成・質の高い教育を通し、あらゆる人の潜在能力を開花させ、個の働きがいの醸成と、社会全体の経済成長に繋げる - 世界のものづくり産業・サービス産業を人的面で下支えするとともに、優秀な人材を輩出することで技術革新の礎を創る - ジェンダーに拘わらず、あらゆる人が活躍できる働く場を創出する	 「働く」カタチの創造 あらゆる人々に適材適所の「仕事」を探し活き活きと働く喜びを感じてもらうとともに教育を通して人がもつ潜在能力を引き出し人の可能性を開花させることで産業の発展に貢献する	世界中にあらゆる人が活きるカタチを創造することで人々の幸せと社会の持続的発展を実現する
不動産	- 暮らしやすい住設備を整え、あらゆる人々が安心して生活できるまちづくりを進める - 自然環境を守り、地球資源を大切に、地域と共生したまちづくりを進める - 持続可能な土地開発を進め、地域の環境保護に貢献する - 街の老朽化等を起因とする高まる災害リスクに対して、開発力を活かし街を再生する	 「まちづくり」のカタチの創造 人が生活する上での基本となる快適な「街」をデザインすることで活き活きと生きられる環境を提供し自然環境・地球資源を大切にしたいまちづくりで社会に貢献する	
情報通信	ITインフラをはじめ、便利な機器を世に普及することで、デジタルデバイドを解消し、技術革新の基盤を創るとともに、安心で安全なまちづくりを進める	 「便利と安心安全」のカタチの創造 新たに登場する「IT」インフラを世に普及し人々に便利さを広めることで安心安全な生活を送れる環境を創り社会の豊かさに貢献する	
農業公園	- 自然を守り、地球資源を大切に、未来を担う子供たちが健やかに成長できる環境を保つ - 広大な土地を利用し、再生可能エネルギーの創出を模索し、気候変動への対策・地球資源の保護に貢献する	 「未来」のカタチの創造 自然環境・地球資源を大切にするとともに未来を担う子供たちの「成長」に必要な育成環境を提供することで社会の持続的発展を下支えする	
事業再生	- 倒産・清算を回避し、会社・従業員・家族を守る - 事業の再生により付加価値を高め、恵まれた雇用環境をつくり、経済成長に貢献する。「つくる責任つかう責任」を果たす - 起業家に安心感を与え、失敗した起業家にも再チャレンジの機会を提供する	 「事業を繋ぐ」カタチの創造 会社の事業を再生させることで会社を守り、付加価値を高めることで雇用環境を創り社会に貢献する	

主な沿革



主なグループ会社

人材教育ビジネス

プロダクツHR事業

ワールドインテック
人材サービス
(製造・技術・研究開発)

ワールドコンストラクション

人材サービス(建設技術)

TOHOWORLD

人材サービス(素材関連)

台湾英特利

人材サービス【台湾】

悟路徳商務諮詢

人材サービス業【中国】(非連結)

EngmaIntec

人材サービス【中国】

WORLD INTEC AMERICA

人材サービス【アメリカ】

ワールドグローバルサポート

技能実習生導入支援(非連結)

DOT ワールド

臨床試験(CRO)

ワールドソテック

カメラ・デジタル機器修理

九州地理情報株式会社

地理情報システム開発

ワールドシステムサービス

ソフトウェア受託開発

サービスHR事業

ワールドスタッフイング
人材サービス
(物流・軽作業・コールセンター)

JW ソリューション

人材サービス(ツーリズム)

ディンプル

人材サービス(接客販売)

ヤマト・スタッフ・サプライ

人材サービス(物流・教育研修)

ディンプルリアルティスタッフ

不動産業界に特化した人材サービス
(非連結)

CreationView Co., Ltd.

ソフトウェア受託開発

Advan

株式会社アドバン
PCスクール・Web制作

グレイテック

人材サービス(製造・プラント)

株式会社 日本技術センター

人材サービス(技術請負・製造派遣)

TECHNOLINK

産業用機械の設計開発

三金開発

人材サービス(素材関連)

トーホーテック

チタン加工品の設計・製造・販売

NIKKIEN

カメラ・デジタル機器修理【フランス】
(非連結)

■ 人材教育ビジネス ・プロダクツHR事業 20社 ・サービスHR事業 5社

不動産ビジネス

ワールドレジデンシャル
デベロップメント(関東)

ワールドアイシティ

デベロップメント(東北)

ワールドレジデンシャル関西

デベロップメント(関西)

ニチモリアルエステート

不動産コンサルティング

ワールドライフパートナー

賃貸、分譲マンション、ビル等の管理事業

WORLD DEVELOPMENT INDONESIA

デベロップメント【インドネシア】(非連結)

オオマチワールド

ユニットハウス製造・販売・レンタル

ワールドシェアセリング

ユニットハウス販売・地盤調査(非連結)

RCレジデンシャルワールド

戸建て住宅分譲(北海道)

金融関連

ワールドアセットマネジメント

不動産ファンド運営(金商法)(非連結)

ワールドキャピタルソリューション

不動産ファンド運営(不特法)

みらい債権回収

債権回収(非連結)

MIKUNI
総合不動産

リノベミクニ

リノベーション

エムズワールド

リノベーション(北海道)

■ 不動産ビジネス 16社

情報通信ビジネス

イーサポート
コールセンター・ショップ運営

ネットワークソリューション

モバイルショップ運営(Softbank)

ワールドスタイル

モバイルショップ運営(au)

ベストITビジネス

法人ソリューション

■ 情報通信ビジネス 4社

農業公園ビジネス

ワールドインテック
農業公園の管理運営

株式会社 クラウドイト

農業公園の管理運営

■ 農業公園ビジネス 7社

Create a Sustainable World.

バランスの取れた事業ポートフォリオにより
高い成長を実現し持続的な世界を創造する

人材教育ビジネス

プロダクツHR事業

<ものづくり領域>

研究開発/設計開発/製造/アフターサービス

「ものづくり領域」に関わる生産工程の川上から川下までを広くカバーした人材ビジネスを展開。

世界的な大手製造メーカーを中心に、半導体、電気電子部品、自動車、機械、システム、医薬、バイオ、化学等のクライアントと取引を行っており、研究開発・設計開発・製造・リペア等のものづくりに関する一連の工程において、業務請負・人材派遣・人材コンサルティング等を実施。

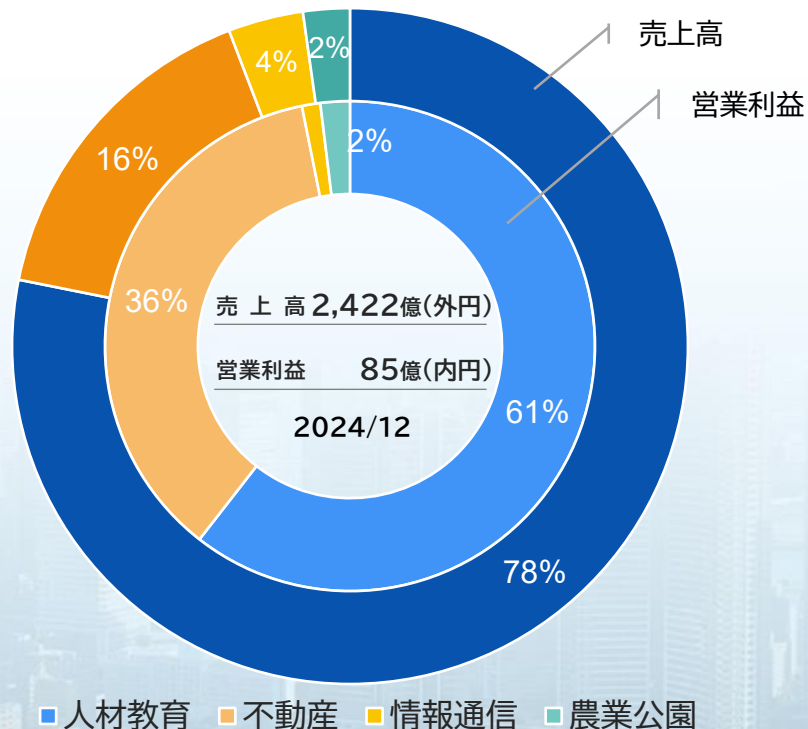
サービスHR事業

<サービス領域>

ロジスティクス/接客・販売/ツーリズム

「サービス領域」に関わる人材ビジネスを展開。

中でも、ロジスティクス・ツーリズム・接客販売領域に強みを持ち、大手Eコマース事業者における物流倉庫や、百貨店や量販店及びホテルや観光施設をはじめとしたツーリズム領域における接客販売等において、業務請負・人材派遣・人材コンサルティング等を実施。



業種分散

地域分散

フロー
ビジネス

ストック
ビジネス

不動産ビジネス

デベロップメント・リノベーション

デベロップメント、リノベーション、不動産仲介、賃貸管理、ユニットハウスの製造・販売・レンタル等を展開。
デベロップメント関連は、中規模ファミリータイプのマンションデベロッパーとして、首都圏、東北圏、近畿圏、九州圏にてそれぞれ地域に根差した事業展開をし、リノベーション等は全国で展開。

情報通信ビジネス

モバイルショップ運営

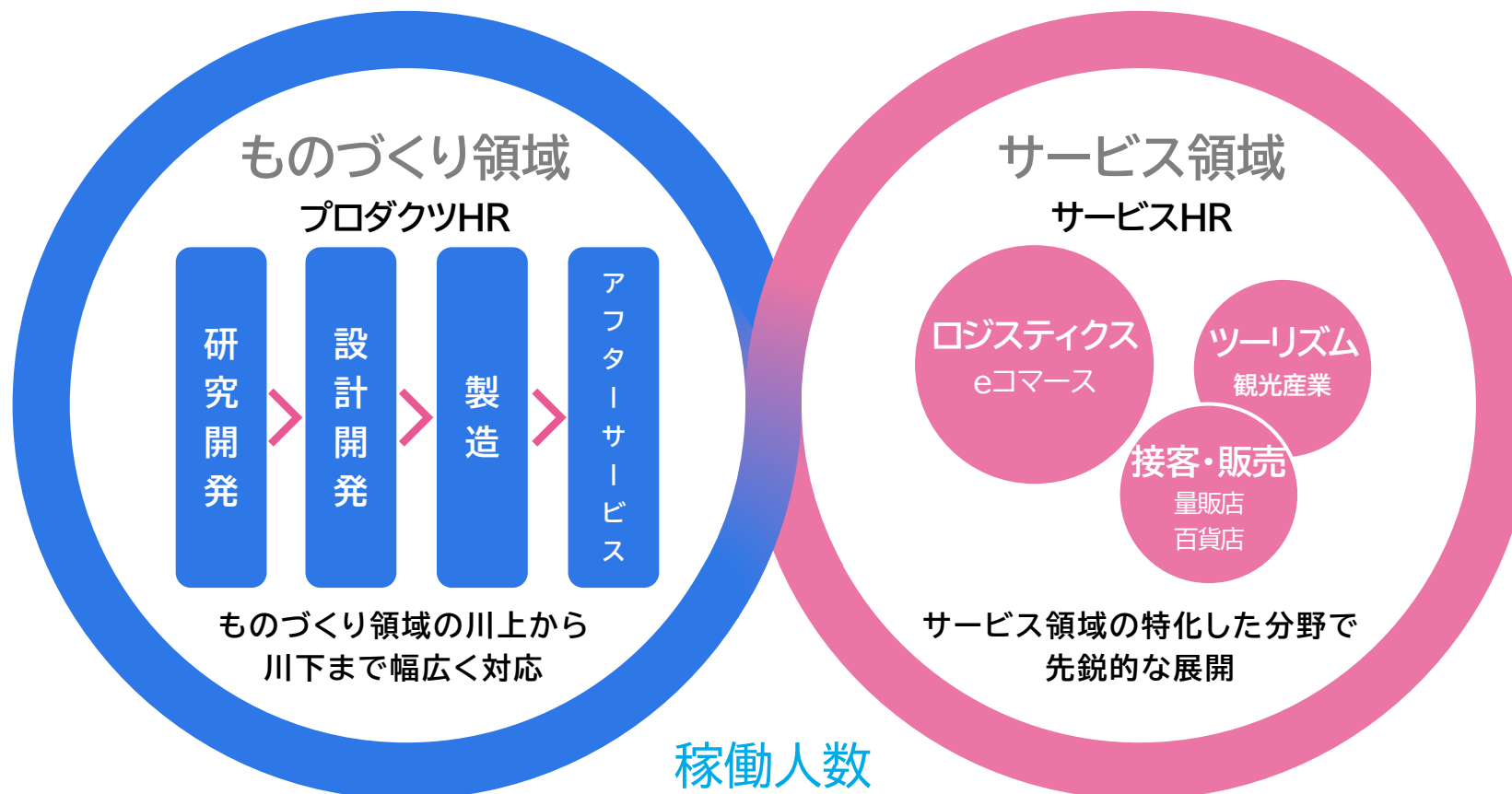
主として携帯電話の販売代理店事業を展開。福岡を中心とした北部九州でSoftBankショップやauショップ等を29店舗運営。その他、法人向けにコスト削減ソリューション事業等も展開。

農業公園ビジネス

農業公園施設の管理運営

全国24カ所において公園施設の管理運営事業等を展開。
直営の5施設においては、自然や文化を尊重しながら、広大な自然あふれる公園施設を運営し、また、そこで培ったノウハウを活かして、全国17カ所にて都市公園や温浴施設等の公共施設の管理運営を実施。

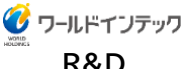
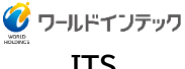
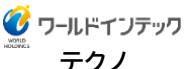
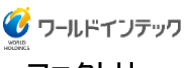
幅広い領域をシームレスにカバーした業務受託・人材派遣
レイバーマネジメントに強み



約 **55,500** 名 ※ 2025年Q2現在 (3か月平均)

ものづくりの川上から川下までをベストアシストする幅広い事業領域

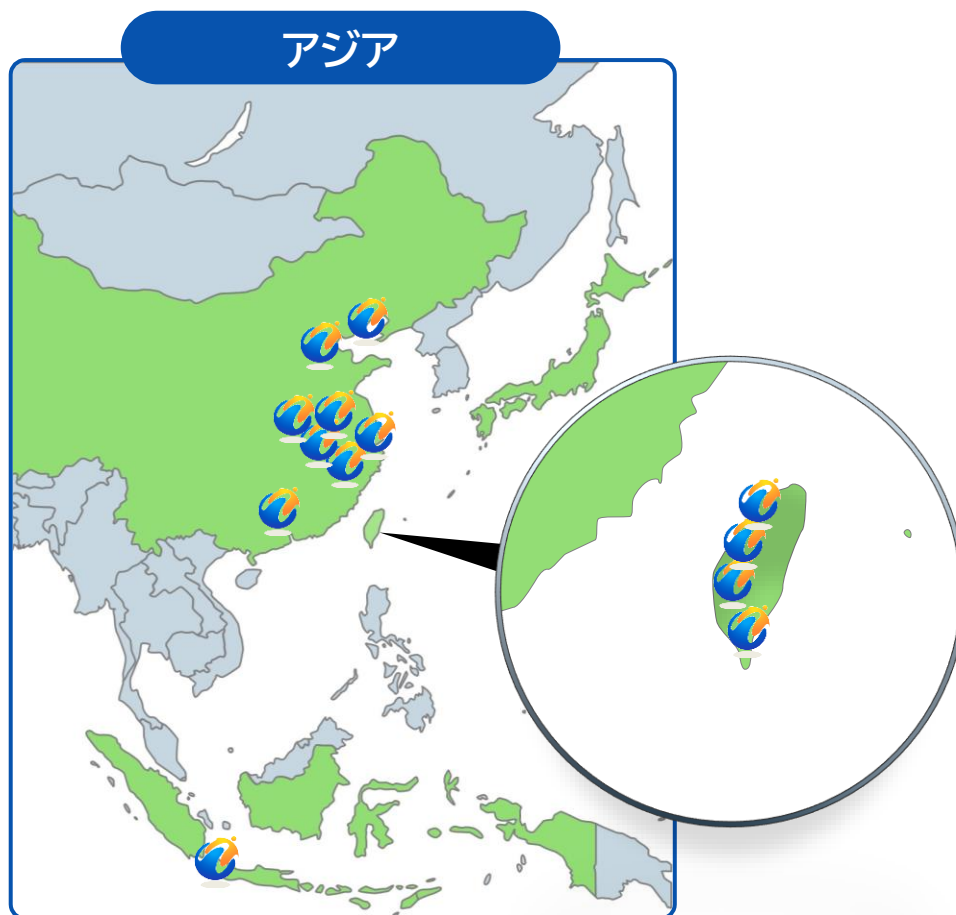
メーカー様の窓口を一本化することで、ものづくりの様々な課題に対し
シームレスなトータルアシストを実現

ものづくりの工程	国内		海外
研究・開発	 ワールドインテック R&D バイオ・化学研究・臨床試験 一般企業の研究開発領域・大学や国家研究機関の素材の研究開発・臨床試験現場へ人材を派遣		
設計・開発	 ワールドインテック ITS IT分野 AI開発、DX推進サポート、ソフトウェア・システムの受託開発、情報システム部門の運用支援、サーバー管理、防衛産業などの専門人材を派遣		  
	 ワールドインテック テクノ 機械・電気電子／SI設計・開発 技術領域において設計開発～評価～生産技術～品質保証～製造技術領域へ人材を派遣		
	 株式会社 日本技術センター 産業機械・装置開発／設計・技術支援 製造現場の設備開発から技術支援まで請負および派遣	グローバル (海外関係会社)	海外進出支援 現地視察から運営まで現地サポート
保守・保全 製造	 ワールドインテック ファクトリー 製造ライン／保守・安全 製造現場のライン作業・保守点検業務の請負およびチーム派遣		外国人就労 技能実習、特定技能、技術・人文知識・国際業務のサポート
事務 物流	 株式会社 加瀬工業 人事BPO／IT受託開発／設計受託／各種クリエイティブ製作／人材 パンフレット等の印刷複写業務からシステム開発、給与計算等のBPO業務を請負		
	 ワールドスタッフフィンプロ 物流倉庫／3PL 物流分野に特化した人材サービスで、倉庫内全ての工程業務を受託・運営 販売／コールセンター サービス・物流業界特化の人材サービスで商業施設等への人材を派遣／紹介予定派遣		
販売 アフターサービス	 ワールドドリテック 修理／メンテナンス／BPO デジタル機器のアフターサービス業務全般の請負および人材を派遣		

グローバル拠点

全**251**拠点

- 国内 **229**拠点
- 海外 **22**拠点（中国、台湾、インドネシア、フランス、アメリカ）



プロダクツHR事業 人材育成の強化

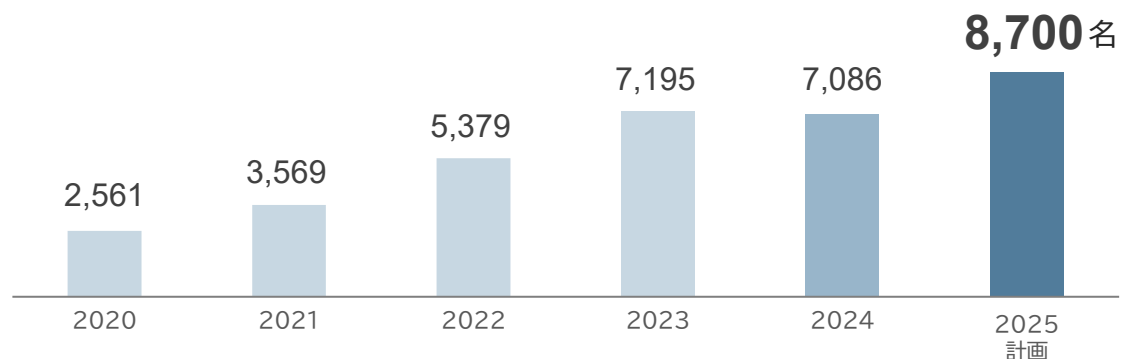
- リーダー研修・技術研修をはじめ各種研修を充実させ、多くのリスキリングの機会を提供し、キャリアアップやキャリアチェンジを実現する
- 全国11か所に研修センターを設置し、社員の技術向上につなげる
- 強みを持つ半導体分野では、受託拡大に備えて熊本県大津町に熊本テクニカルセンターを新たに設置、半導体人材の育成に注力

リーダー研修・技術研修体制の充実化

- ・ リーダー研修・次期事業所長研修
- ・ 次期リーダー向け研修
- ・ プロジェクトマネージャー研修
- ・ 機械設計・生産技術研修
- ・ ITエンジニア技術研修
- etc.



研修参加者数 (名)



人材育成拠点

- 全国11か所に研修センターを設置
- 受託先企業でも社員研修やOJTを実施

- R & D分野 (医薬品分析研修)
【京都】 京都大学 宇治キャンパス
- R & D分野 (細胞培養基礎研修)
【大阪】 ターンキーラボ健都
- 製造分野 (半導体、電子部品、自動車)
【広島】 広島テクニカルセンター

- R & D分野
(バイオインフォマティクス研修 / 医薬品分析研修)
【東京】 東京都立大学 南大沢キャンパス

- 製造分野 (自動車)
【埼玉】 熊谷研修センター

- R & D分野 (オルガノイド培養研修)
【千葉】 千葉県がんセンター

- 技術分野 (機械設計、SE、品質管理)
【神奈川】 テクノ東日本研修センター

- 技術分野 (機械設計、SE、品質管理)
【愛知】 テクノ西日本研修センター

- 製造分野 (半導体、電子部品、自動車)
【愛知】 名古屋テクニカルセンター

- 製造分野 (半導体、電子部品)
【三重】 四日市テクニカルセンター

- 製造分野 (半導体、電子部品、自動車)
【熊本】 熊本テクニカルセンター

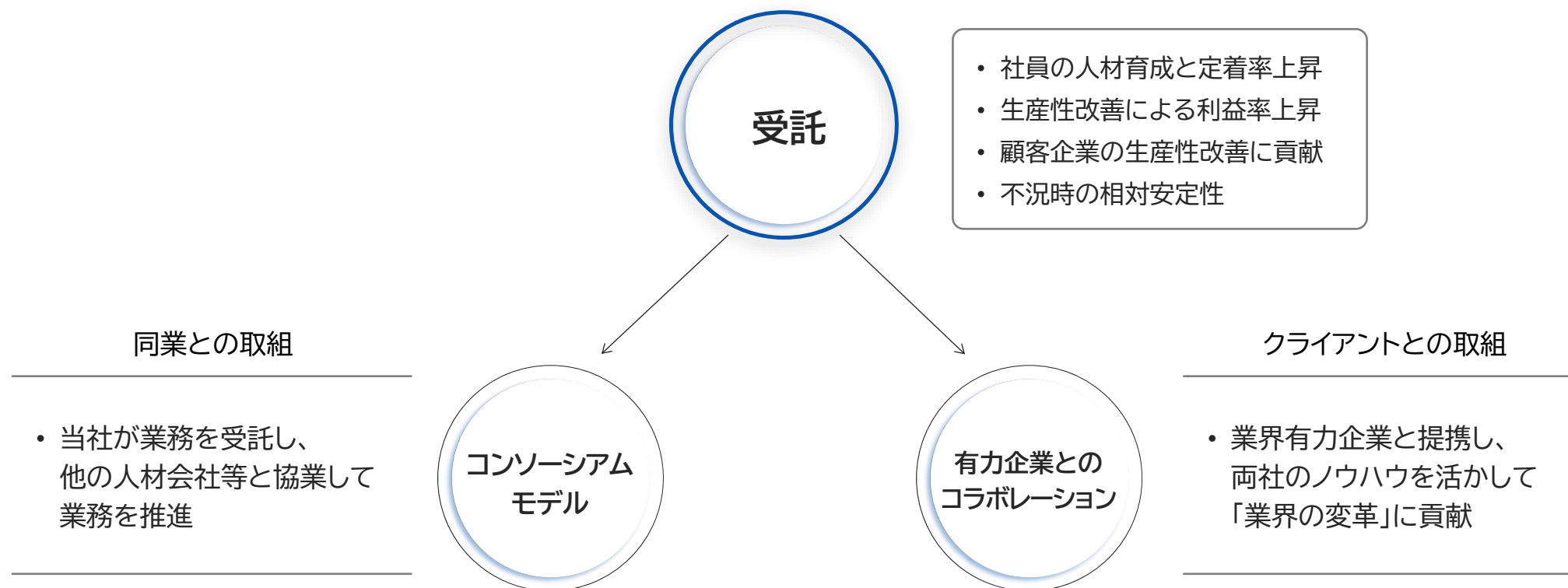


「受託」を核にコンソーシアム・コラボレーションを展開

「受託」を核に、他の人材会社との協業、クライアントとの提携により、サステナブルな成長を目指す

Co-Sourcing
コ・ソーシング

お客様の良きパートナーとして業務にさらに踏み込み、成果を共に享受できる、進化したアウトソーシングの姿



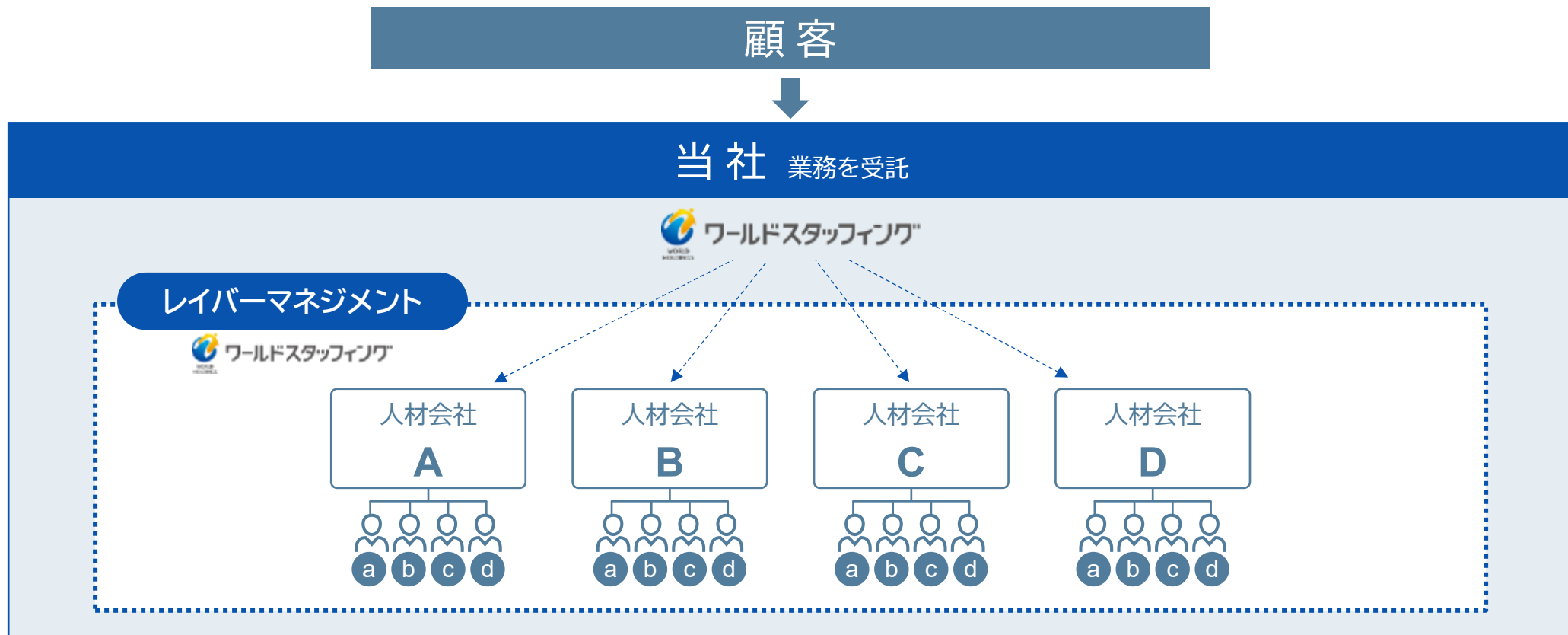
人が生きるカタチを創造し、人々の幸せと社会の持続的発展を実現する

コンソーシアムモデルの展開

- 当社が業務を受託し、地域の人材会社や顧客企業の協力会社と協業して業務を推進
- ロジスティクス分野で培ったノウハウを横展開

地域の人材派遣会社との協業

(例)  ワールドスタッフィング (ロジスティクス分野) 外資系大手eコマース企業の複数の物流倉庫の受託



有力企業とのコラボレーション①

- 他業界有力企業と提携して、「業界の変革や人材スキームの構築」、「提携先企業の改革」に貢献し、共に成長を目指す

素材業界

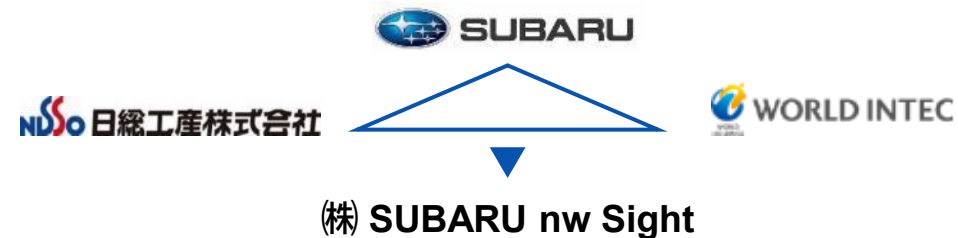


東邦チタニウムの外部リソースの一元化を進め、同社の生産等を受託



チタン専門の金属加工事業を行うトーホーテックに65%出資
人材教育セグメントに製造メーカーが初めてグループイン

自動車業界



SUBARU、日総工産、ワールドインテックの3社合弁で、
人財サービスを提供する新会社を設立

素材業界



三金開発の過半数株式を引き受け、三井金属へのHRサポート業務を展開

有力企業とのコラボレーション②

- 他業界有力企業と提携して、「業界の変革や人材スキームの構築」、「提携先企業の改革」に貢献し、共に成長を目指す

物流業界



- ヤマト運輸のHRサポート受託による人材配置の最適化
- 物流倉庫の一括受託のノウハウを活かし、倉庫業務の生産性改善
- 物流倉庫業務の受託の横展開も行い、物流業界のサステナブルな成長に貢献

* YSS: ヤマト・スタッフ・サプライ

ツーリズム業界



ホテル・観光施設等～大規模イベント会場までの業務を受託・人材派遣

接客・販売業界



小売業の接客・販売やインフォメーションなど7,500社を超える企業と取引実績

あらゆる外部環境変化へ対応可能な体制を構築

現物不動産

デベロップメント

マンション・戸建 事業用地開発

首都圏・東北圏・近畿圏・九州圏で
主要都市に特化し事業展開



レジデンシャル青葉広瀬川《宮城県仙台市》

不動産再生

リノベーション コンバージョン

全国でリノベーション等の
不動産再生関連事業を展開



リノベーション例



不動産ファンド運営

不動産金融

アセットマネジメント



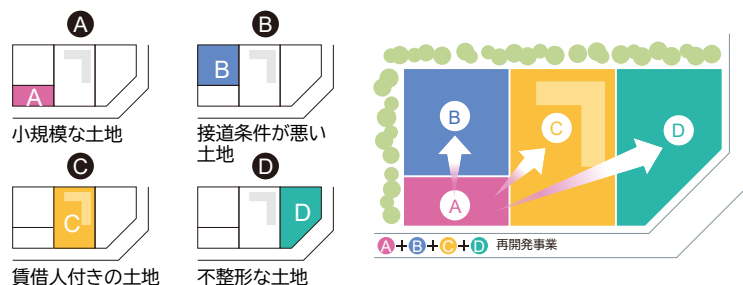
REZIA小倉

不動産事業 土地開発に強み × ストック収益の拡大にも取り組む

- 都市開発の強みを活かし、安全で快適な都市空間を創出
- 仕入物件は一部賃貸に回し、最適な販売タイミングを待って販売

土地開発の強みを活かし、安全で快適な都市空間を創出

様々な条件の土地を、法定再開発や権利調整等を通じてバリューアップを図り、安全で快適なまちづくりを実現



開発例

1 老朽化が進んだ木密地域の再開発を行政と推進

レジデンシャル池袋本町 (東京都豊島区)



防災街区整備事業の協議会が組織された区域にて協議会の一員となり、同整備事業を主体的に推進。当社グループは、保留床部分のマンション分譲をおこなった。

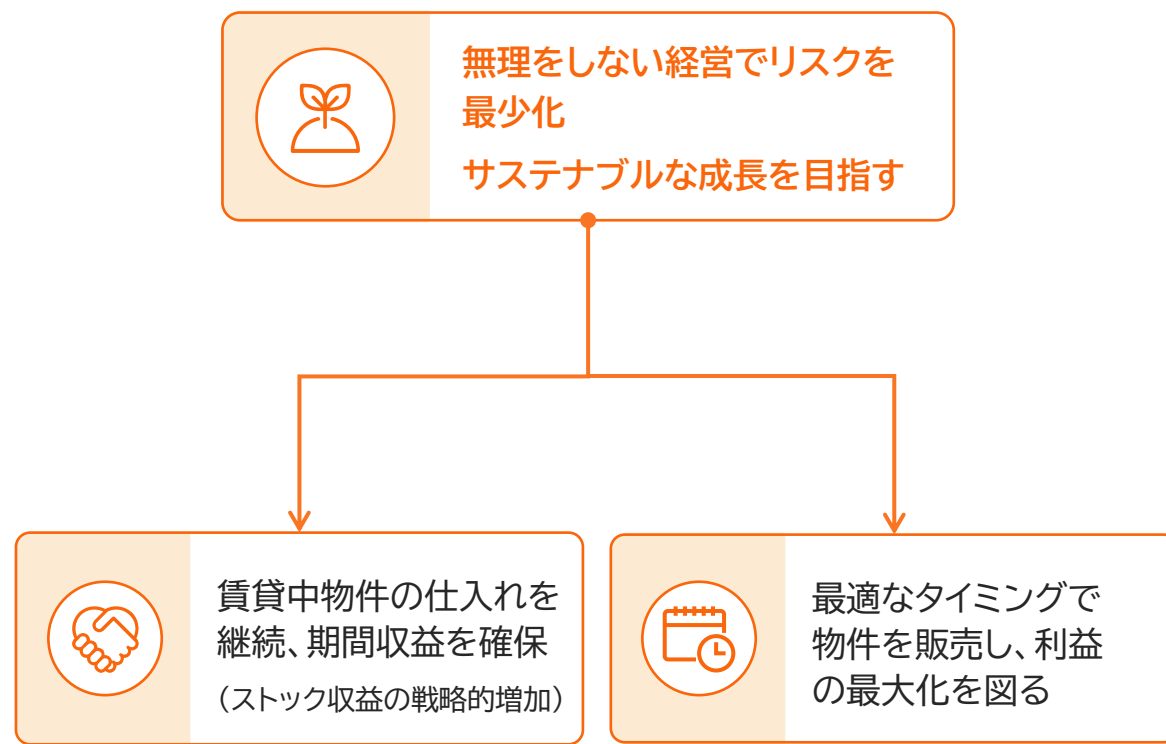
2 古い団地を再生し新たな「まちづくり」

レジデンシャル原ブランシエラ (福岡県福岡市早良区)



約半世紀前に建設され、老朽化が進んでいた団地を、住民の「困りごとの解決」と「子育てに適した安全な環境」というニーズにも応える形で、団地を再生。

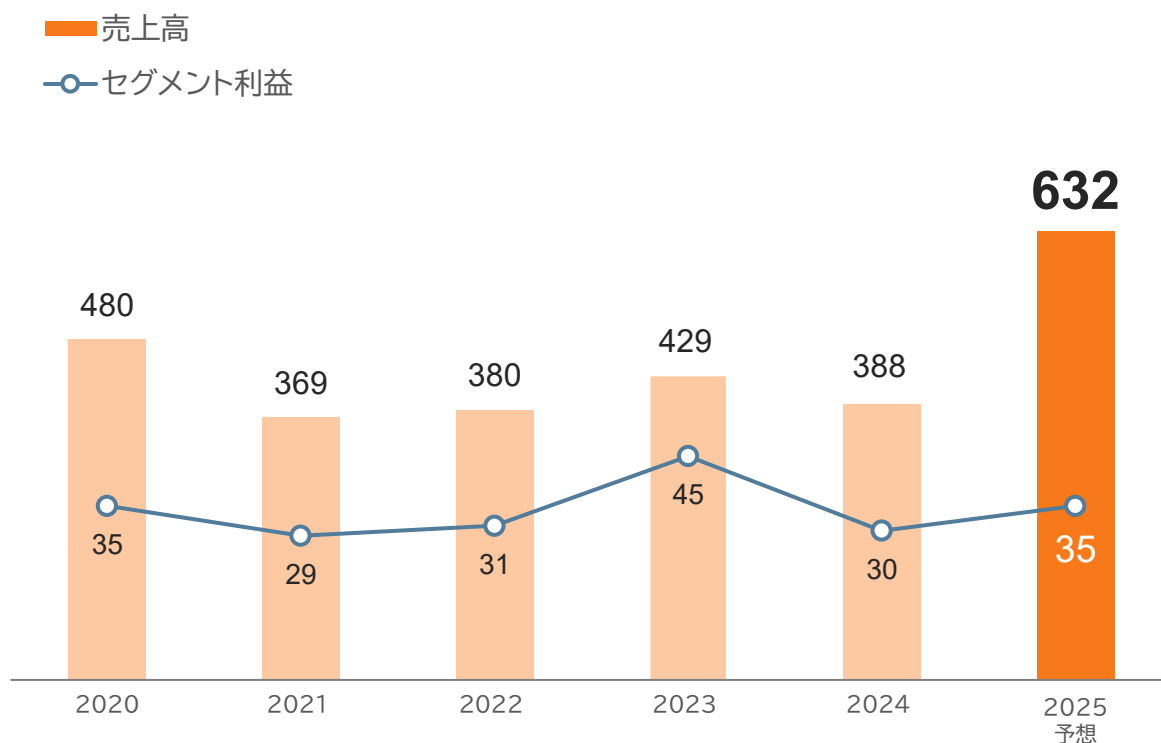
フロー収益とストック収益のバランスを図る



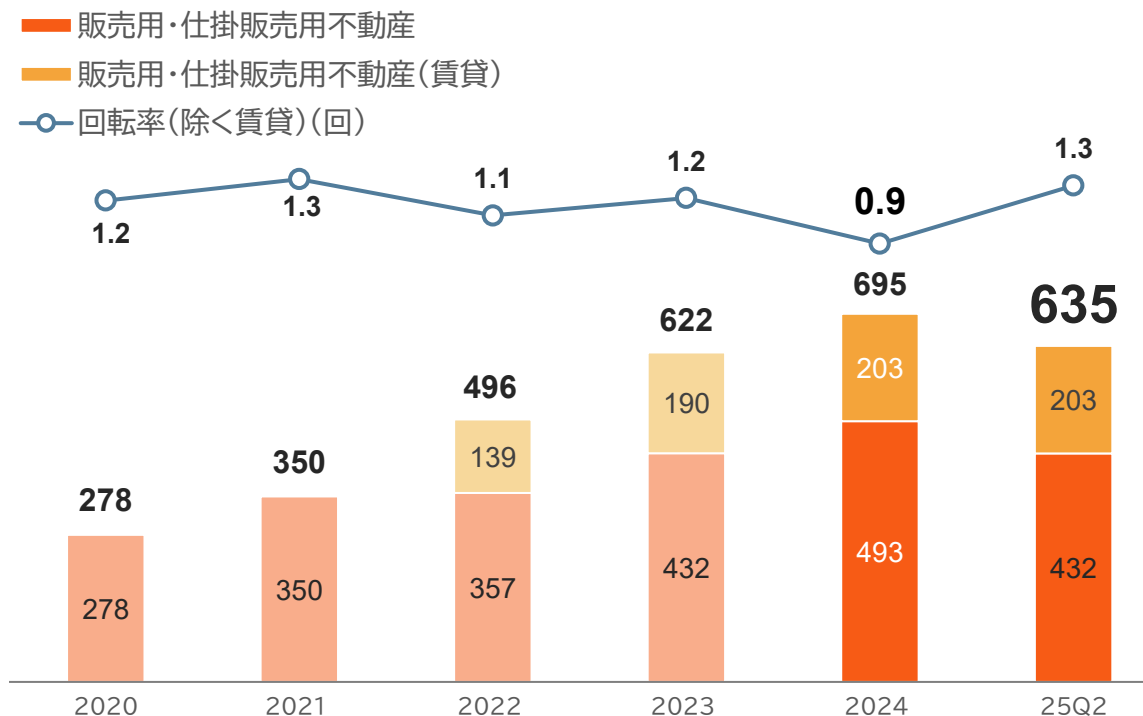
不動産事業 回転率を意識した経営

- 不動産仕入は優良物件を見極めて仕入、回転率を意識した経営を継続
- 収益の安定確保のため、仕入済み物件の賃貸および、販売事業を目的とした賃貸中物件の仕入れを継続

売上高とセグメント利益の推移（億円）



販売用・仕掛販売用不動産と回転率の推移（億円）



在庫回転率＝不動産売上高を前期末の販売用不動産・仕掛販売用不動産（除く賃貸物件）で割ったもの
2025年12月期の販売用・仕掛用不動産は2Q末実績

モバイルショップ

九州地域最大級の店舗網

携帯電話ショップを、福岡県、佐賀県、大分県、長崎県にて展開



Softbank ショップ

au ショップ

リペアショップ

29 店舗

2025年6月末現在

法人ソリューション

■ トータルコスト削減ソリューション

企業向けに、各種商材の販売を通して、電力、通信費等のコスト削減提案を実施

■ コールセンター

セールスマーケティングからカスタマーサポートまで幅広く対応

地域とともに

事業を通じて、地域の「安心・安全」をサポート

多様な商材や機会の提供を通じて、地域の暮らしになくてはならない拠点へ



地元企業の
課題解決

- ・ エネルギーソリューション
- ・ DXサポート
- ・ 各種ソリューション提案



子供向け

- ・ ドローン教室
- ・ プログラミング教室
- ・ 地域環境保全活動

モバイルショップを
起点に



子供たちの
健全な成長
を支援

地域



デジタル
デバйд
解消

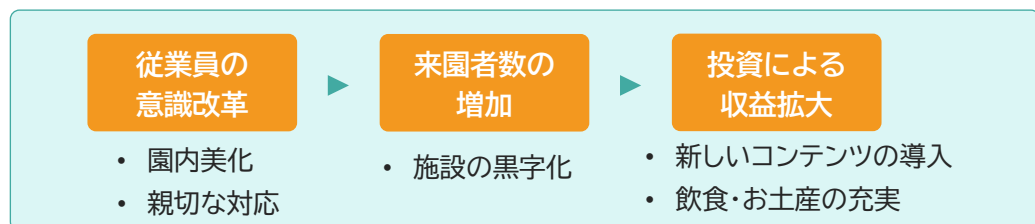
シニア向け

- ・ 地域の公民館などでの出張教室

農業公園事業

- 地域分散と業態分散を進め、リスクを低減しながら収益拡大。直営施設再生のノウハウを指定管理・業務委託に活かす
- 既存施設の大型修繕やコンテンツ充実、屋内設備拡充を進め、入園者数増と顧客単価増加を目指す
- 直営の「信州塩尻農業公園チロルの森」が4月26日にグランドオープン。ぶどう園・ワイナリ・ソーラーシェアリングなどを進め収益の安定を図る

直営5施設の再生ノウハウ



全国24か所で自然あふれる農業公園等を展開

直営施設5か所と指定管理・業務受託等 計19か所の運営

地域に密着し、地域経済・雇用にも貢献



自然豊かな公園施設で子供たちの未来を創る



注)「GUIDE MAP」はハーベストの丘

- 「塩尻チロルの森」を再開。塩尻市と連携して「市民が集える場所」として整備
- 当社のサステナビリティのひとつである『**未来**』の**カタチ**を実現すると同時に、当社収益への貢献を目指す
- 『**未来**』の**カタチ**:自然を守り、地球資源を大切に、未来を担う子供たちが健やかに成長できる環境を保つ

巳年に期す 再生



「堀尻になくてはならない施設。チロルの森の*第2章。が楽しみ」とエールを送る常田さん



チロル地方の街並みを再現した園内で、復活へ準備を進めている運営会社社員の山本さん。現場の士気は高い

で大きな成果
着々と

チロルの森

「初日にお客さんが入った途端、建物がいらいになった気がした。血が通つたんですね。あの光景は今でも忘れられない」と中山さん。

を集めるのが、来週（10月26日）に決まっています。北小野の「ライオン年輩の「ライオン」で約2万人人が、えを得た様だ。出しても対応できる

昨年12月中旬、うすたと黒瀬湖をめぐって、運営委員会（福井市インテック・福井市「ゼロルの開設準備室」課長の木崎尚人、副課長の佐藤修作）をしていた。トライアル営業後も木崎さんと社員らが参加し、除雪と工事の注、金銭的な立派なものをして、「会社から『書留』けるぞ」と言われて対応できなくて、嫌味を進めている」と山田さん。

昨年7月7日（9月1日）に実施したトラ

新規・常連とも
楽しめる工夫を
再生の肝として現場
が挙げるのが、ファミ
リ層以外の、特に30代
以上の客の誘致だ。
その布石として、ライ
フ営業の期間中に、
古道具やクラフトな
が、出店するマーケッ
トを実施。2日間で
4,200人が訪れ

[illegible]

● 施設メモ

【チロルの森】農業公園をうたうレジャー施設を展開したファーム(愛媛県、2020年にワールドインテックに吸収合併)が、全国14カ所目の施設として山林約27畝を開発し、1999年4月に「信州塩尻農業公園チロルの森」の名称で開設。

オーストリア・チロル地方をイメージした街並みや、そば打ちやパン作り、工芸などの体験、ソーセージや地ビールなどの加工品製造・販売が売り物で、地元産農産物を使うレストランもあった。

初年度は約37万人(無料入場者を除く)が来場したが、19年度は6万6千人まで減少。コロナ下の臨時休業や外出自粛が追い打ちをかけ、開業21年目の20年11月末に閉業した。

常連とも
の工夫を
行なうと、市場
場が、ファミ
客の獲得は、特
客の間中に、
ラフなマクド
マクドを、2日
元のみで、月
元が、若者が、
と思っ、たけ
山本、

大いびりビータ全
の満ち足りた、各
国で同様の施設を運営
する同社の強みを活かし、異業種の物流施設、エコパークを数多く打出し、ベントやひまわりやアーモンド、さくらに新しい発想があることに示した。

所に近い場所に
あるため、営業が難
な冬の活用も課題だ。昨午日に地元有志が企画した自転車展「サイクルロクス」の会場の一角として内
業中にもキャンプやリ

スマス
画面が、
ざきなど
施設、
に愛入れ
エコパー
するよう
やアー
さくら
れ合い
以前から
でも、
20世紀
地元の
強固
再生

かりの

子育て世代に大切な場

「のへりたる姿聞かたが魅力だつた」
いのがえつてよかった下振り返り
のへりたる姿聞かたが魅力だつた」
楽しさ、ほつとできて、学もあつた
了最上」と絶賛。自身の経験から「子
育にも活かすことも大切な場所にな
る」と強調する。

開園前の数年はアトラクションや機
設がなく、なんとも寂しかったとい
ふが、「復讐したら今度は逆なのかな
うな」に少しずつ増える「なんせ幼
いのがたゞ」「また来ようって、わか
わくきょうかも」下振りにしている



99年4月28日の開園日の入場ゲート。
人がどっと押し寄せた(堀居市提供)

の流をつくつてゆく。これは再臨地としての所与。続けた運営会社と、御住民の願、フアンや地帯住民の願だ。この推進に力をもち持続させるのが、取材を進める中で、市民の人へこう語った。市議とのコミュニケーションを大にできないが、地元で実際に働いては、また同じ運動を。地元と強力なタッグを組み始めるが、再開の暁にその後に続く流の鍵を握る。



一日園長時のスタッフボロシ
ャツを着る川口さん。手にす
るのは団圓前の思い出の品だ

「高野の『ついでに鎌倉』での結句、トリアル富家のきこえをつくり、再婚して一日富家の嫁めたる川口」といふ危念入りの「ゼロルっ子。四」の後、もう一度「鹿」のすずと想い出をたどったという。

困難の約々方面は、毎日の生活に通過。最終日「富内を回れるだけ」回り、大好きな「やソーセージ」を食し、櫛の串の中央家族も驚くほど泣いた、残った感情は、絶対に復讐

GW開園を予想し笑顔

「さう」だった。園内で拾った松ぼろりや、開園時にスタッフからもらったブドウの糖りなどは、今も目玉に飾られている。

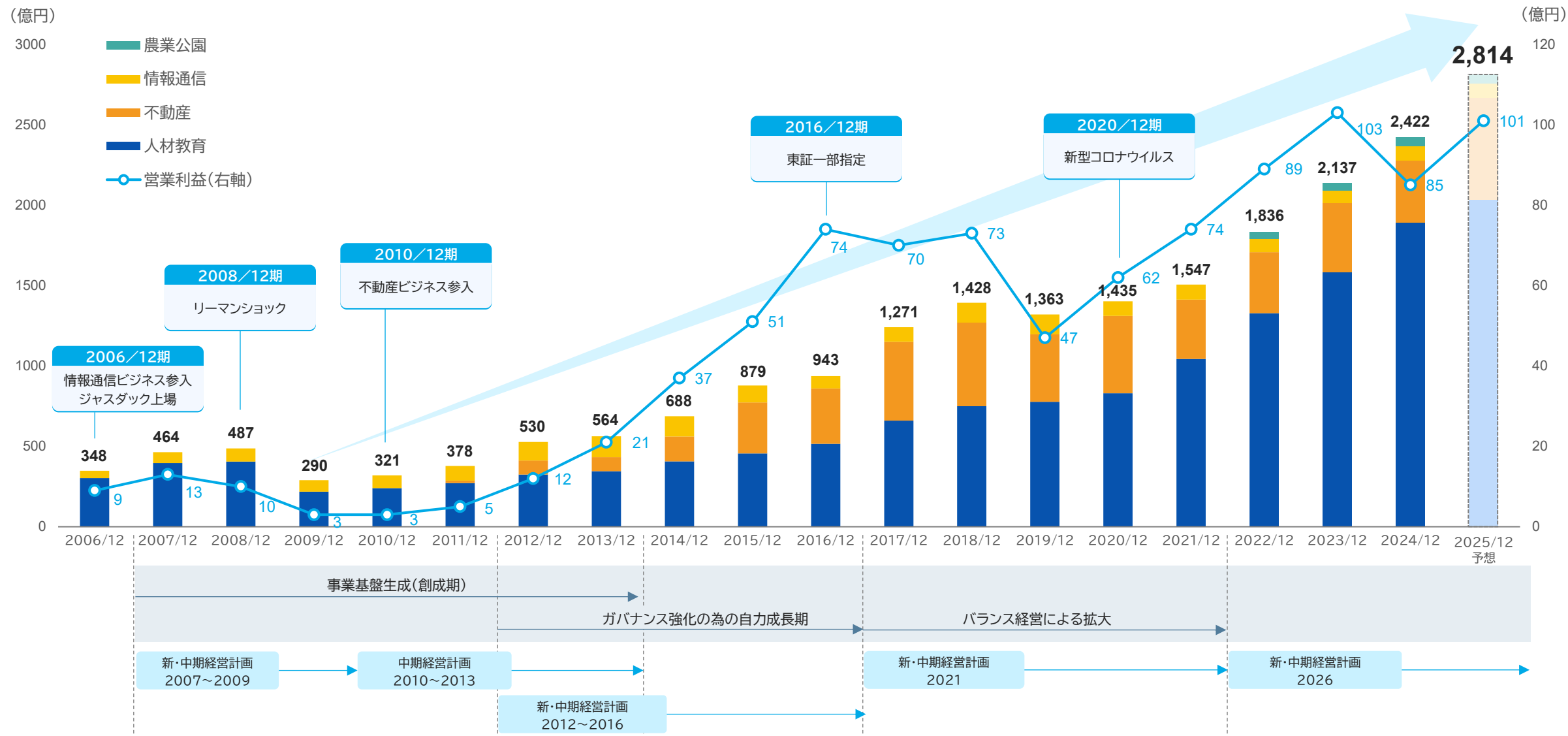
「2002年、チロルの森はすっかり雪で埋まり、と尋ねると、『雪の中』はゴルデンウーイク（GWに直オアンの）のイメージがでている」と回答。トライアールの時は雪がきて、動物をあまり連れて来られなかった。それを覚えてたGWでしょ。期待感、笑顔がはちきれんばかりだ。

運れたと聞いて、600人を見送った。

とまよひまのうへにたまたま

A photograph showing a festival scene with several people walking under white tents. In the foreground, a man in a hat and a woman are visible. The background shows more people and trees.

業績推移



注) 2021/12実績までは旧セグメント区分で、2022/12計画は新セグメント区分で表示

中期経営計画

中計前半は基盤構築、後半は成長に向け刈り取り

- 前半2年間は人材育成や受託業種の拡大、M&Aの活用等により成長のための基盤を構築
- 今後3年間で構築した基盤を活用して成長を図る

2026年12月期 連結数値目標

売上高

2,750億円

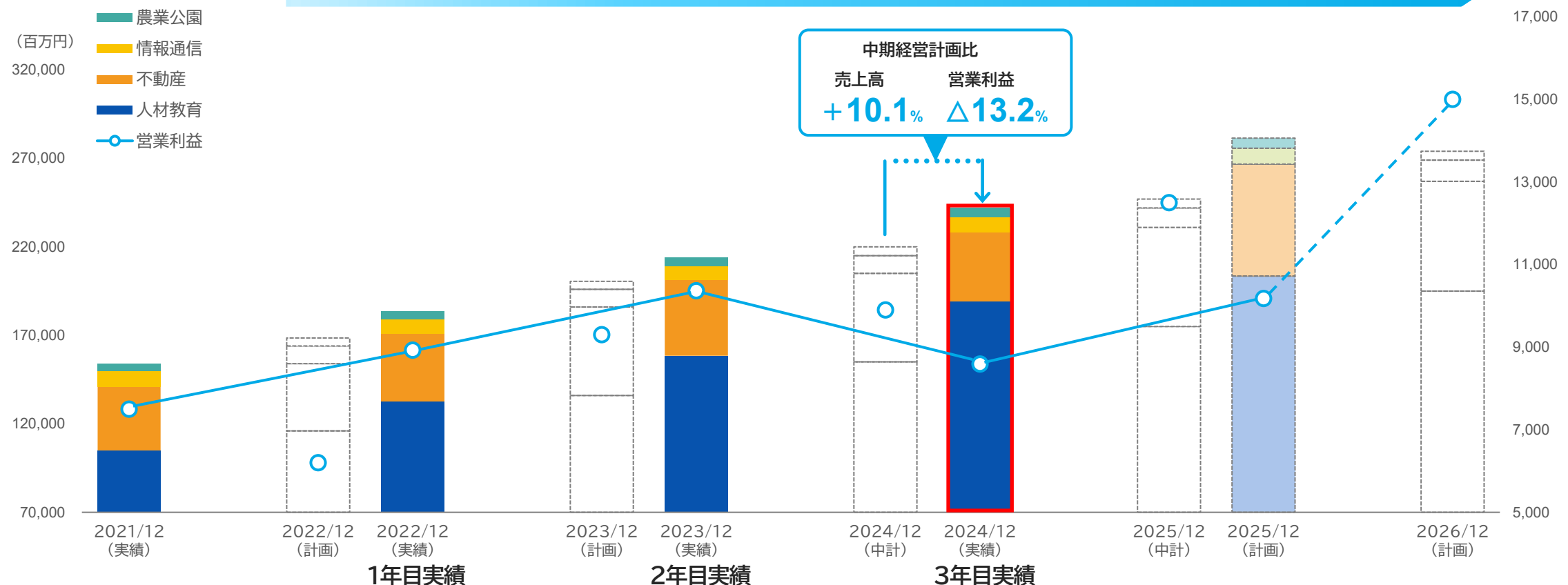
営業利益

150億円

配当性向

30%

中期経営計画2026



本資料に関するお問い合わせ



**WORLD
HOLDINGS**

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更される事があります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。

株式会社ワールドホールディングス

経営戦略統括本部 経営企画本部

広報IR室 室長 西原 範朗

☎ TEL 03-3433-6005

✉ E-MAIL irinfo@world-hd.co.jp

🌐 URL <https://www.world-hd.co.jp/>